

**平成 23 年度 生活習慣病関連医療費の動向  
に関する調査分析報告**

**平成 24 年 9 月**

**健康保険組合連合会  
IT 推進部 データ分析推進グループ**

## 調査分析の目的と概要

本調査分析は、「レセプト分析対象病名等一覧（優先順位）」（厚生労働省 平成 19 年 4 月）の ICD-10 疾病分類に基づく生活習慣病 8 疾患について、▽第 1 部では平成 23 年度の健保組合における生活習慣病 8 疾患の医療費の傾向分析、▽第 2 部では 23 年度と 22 年度の比較分析—をそれぞれ行ったものです。8 疾患については、レセプト上、下記コードが記載されているものを抽出しています。

◇生活習慣病 8 疾患（ICD10）◇

対象疾患	ICD10
糖尿病	E11～E14
高血圧症	I10
高脂血症	E780, E781, E785
高尿酸血症	E790
肝機能障害	K701, K760
高血圧性腎臓障害	I129, N26
脳血管疾患	I61, I639, I64
虚血性心疾患	I209, I219, I259

なお、年齢階層区分において、75 歳以上の加入者は原則、後期高齢者医療制度の適用対象者のため統計上、存在しないはずですが、①診療年月日を診療年月の月末として計算しており、75 歳の誕生日を迎える月に誕生日前に診療を受けた場合に年齢が 75 歳となるため、75-79 歳に計上しているほか、②外国に住所を有する 75 歳以上の加入者については、そのまま当該年齢階層区分に計上しています。

※本内容によるデータは、全組合の集計ではなく、対象組合数が限定されていること、23 年度と 22 年度の比較は、便宜上、加入者調整等を考慮していない単純比較のため、必ずしも組合全体を正確に反映したのではなく、若干、偏りが生じている可能性があることに留意されたい。

資料：「標準的な健診・保健指導に関するプログラム（確定版）」

（H19 年 4 月 厚生労働省 p146 参照）

第 1 部：平成 23 年度的生活習慣病（8 疾患）医療費の動向について

（1）医科（調剤を除く）診療報酬明細書（レセプト）の集計対象

平成 23 年 4 月から平成 24 年 3 月診療分の 12 カ月を提供頂いた 300 組合を対象。

診療年度	対象組合数	対象加入者数	男性	女性	被保険者	被扶養者
H23（2011）年	300 組合	470 万 2,442 名	247 万 7,277 名	222 万 5,165 名	242 万 9,708 名	227 万 2,734 名

（2）医科レセプト（調剤を除く）の内訳（件数、受診者数、実日数、医療費）（平成 23 年 4 月から平成 24 年 3 月診療分）

診療年度	点数表	区分	レセプト件数	受診者数	実日数	医療費
H23（2011）年	医科	入院	38 万 2,239 件	23 万 3,041 名	3,654,483 日	1,653 億 9,868 万 9,330 円
		入院外	2,685 万 80 件	405 万 4,345 名	40,355,610 日	2,761 億 1,819 万 4,390 円

(3) 疾患 19 分類と ICD10 による生活習慣病 8 疾患

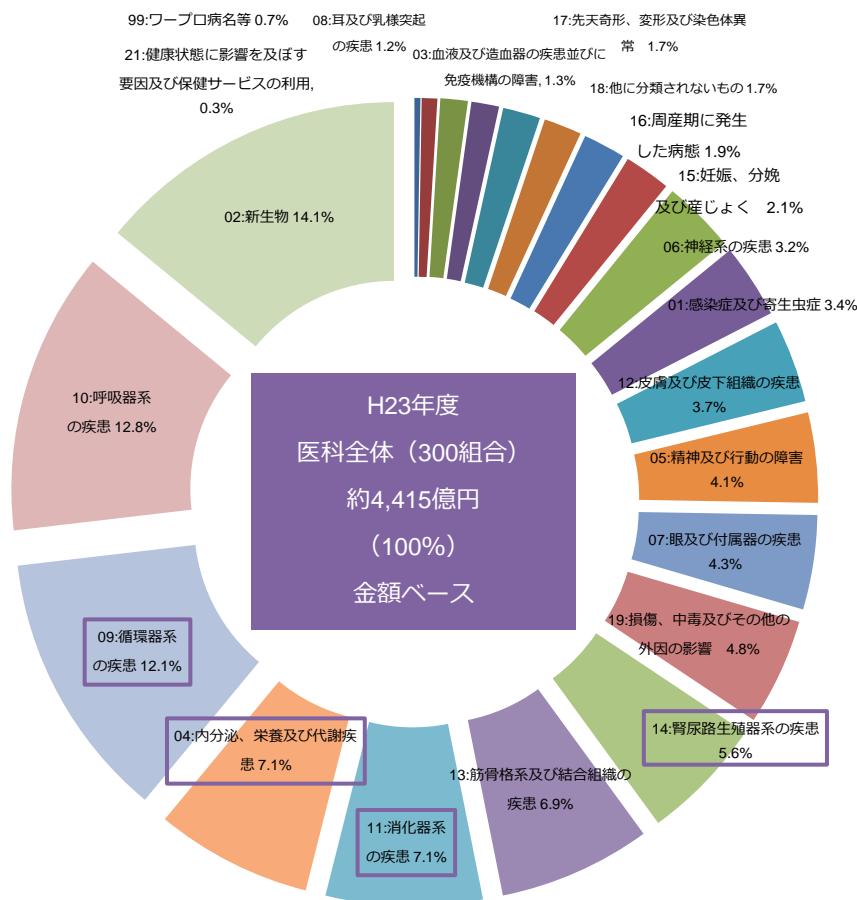
19 疾病分類	生活習慣病 関連
1.感染症及び寄生虫症	
2.新生物	
3.血液及び造血器、免疫機構の障害	
4.内分泌、栄養及び代謝疾患	●
5.精神及び行動の障害	
6.神経系の疾患	
7.眼及び付属器の疾患	
8.耳及び乳様突起の疾患	
9.循環器系の疾患	●
10.呼吸器系の疾患	
11.消化器系の疾患	●
12.皮膚及び皮下組織の疾患	
13.筋骨格系及び結合組織の疾患	
14.腎尿路生殖器系の疾患	●
15.妊娠、分娩及び産じょく	
16.周産期に発生した病態	
17.先天奇形、変形及び染色体異常	
18.分類されないもの	
19.損傷、中毒及びその他の外因の影響	
21.健康状態に影響を及ぼす要因等	
99.ワープロ病名等	



19 疾病分類	ICD10 による 生活習慣病 8 疾患	(参考) ICD10 コード
4.内分泌、栄養及び代謝疾患	①糖尿病	E11～ E14
	③高脂血症	E780 E781 E785
	④高尿酸血症	E790
9.循環器系の疾患	②高血圧症	I10
	⑥高血圧性腎臓障害	I129 N26
	⑦脳血管疾患	I61 I64 I639
	⑧虚血性心疾患	I209 I219 I259
11.消化器系の疾患	⑤肝機能障害	K760 K701
14.腎尿路生殖器系の疾患	⑥高血圧性腎臓障害	I129 N26

## H23年度 医科（入院・入院外）の疾患別割合

加入者総数	300 組合	470 万 2,442 名
レセプト件数		2,723 万 2,319 件
金額		4,415 億 1,688 万 3,720 円



○23 年度 300 組合の医科総額は約 4,415 億円となっており、そのうち生活習慣病 8 疾患は全体の約 10.9%（約 480 億円：p13 参照）を占める。

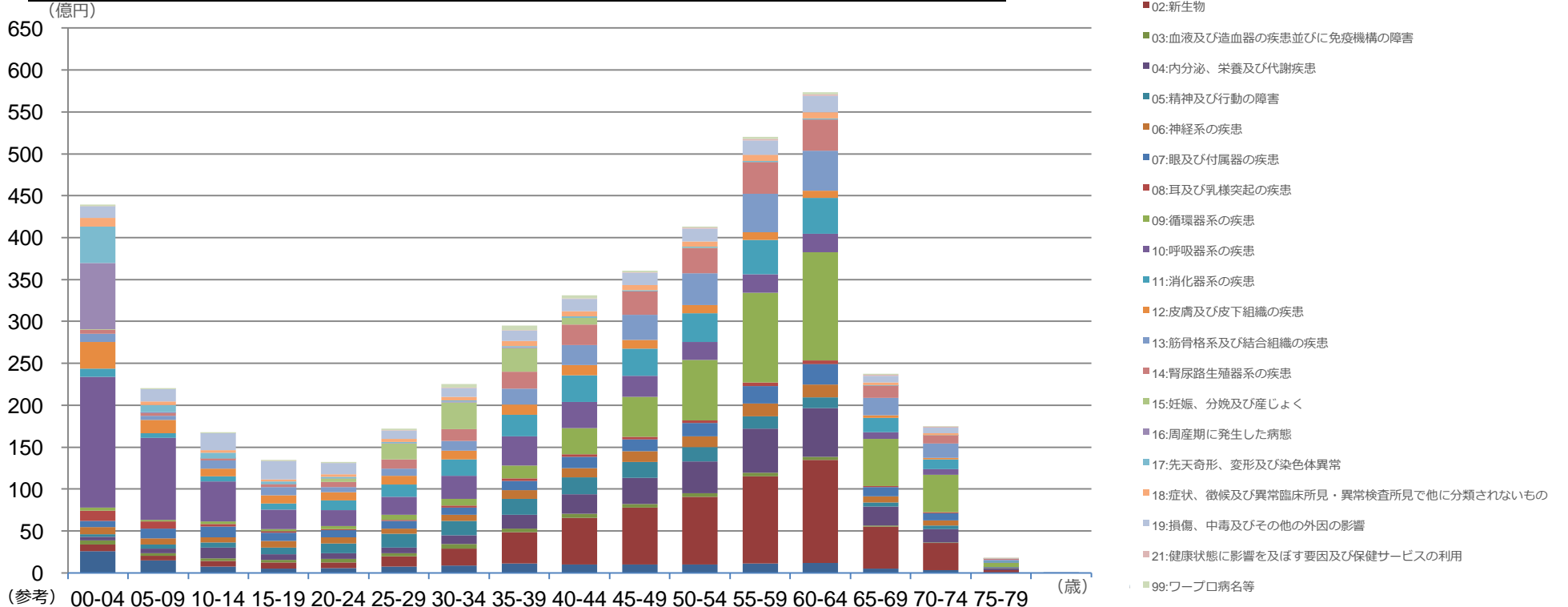
○なお、疾患別では、①新生物：14.1%、②呼吸器系：12.8%、③循環器：12.1%—が高い割合を示している。

19 疾病分類	割合	ICD10 の割合
01:感染症及び寄生虫症	3.4%	0.0%
02:新生物	14.1%	0.0%
03:血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1.3%	0.0%
04:内分泌、栄養及び代謝疾患	7.1%	4.6%
05:精神及び行動の障害	4.1%	0.0%
06:神経系の疾患	3.2%	0.0%
07:眼及び付属器の疾患	4.3%	0.0%
08:耳及び乳様突起の疾患	1.2%	0.0%
09:循環器系の疾患	12.1%	6.2%
10:呼吸器系の疾患	12.8%	0.0%
11:消化器系の疾患	7.1%	0.1%
12:皮膚及び皮下組織の疾患	3.7%	0.0%
13:筋骨格系及び結合組織の疾患	6.9%	0.0%
14:腎尿路生殖器系の疾患	5.6%	0.0%
15:妊娠、分娩及び産じょく	2.1%	0.0%
16:周産期に発生した病態	1.9%	0.0%
17:先天奇形、変形及び染色体異常	1.7%	0.0%
18:他に分類されないもの	1.7%	0.0%
19:損傷、中毒及びその他の外因の影響	4.8%	0.0%
21:健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0.3%	0.0%
99:ワープロ病名等	0.7%	0.0%
IC 生活習慣病 D10 8 疾患の割合		10.9%

## H23年度『医科』（入院・入院外）に占める年齢階層別 19 疾病分類の医療費状況

- 『60～64 歳』の医療費が最も高く、医科全体の 13%を占めている。
- 『30～64 歳』では、年齢階層が上がるにつれて、①「新生物」■、②「循環器」■、③「内分泌、栄養及び代謝疾患」■一が徐々に高くなる傾向にある。

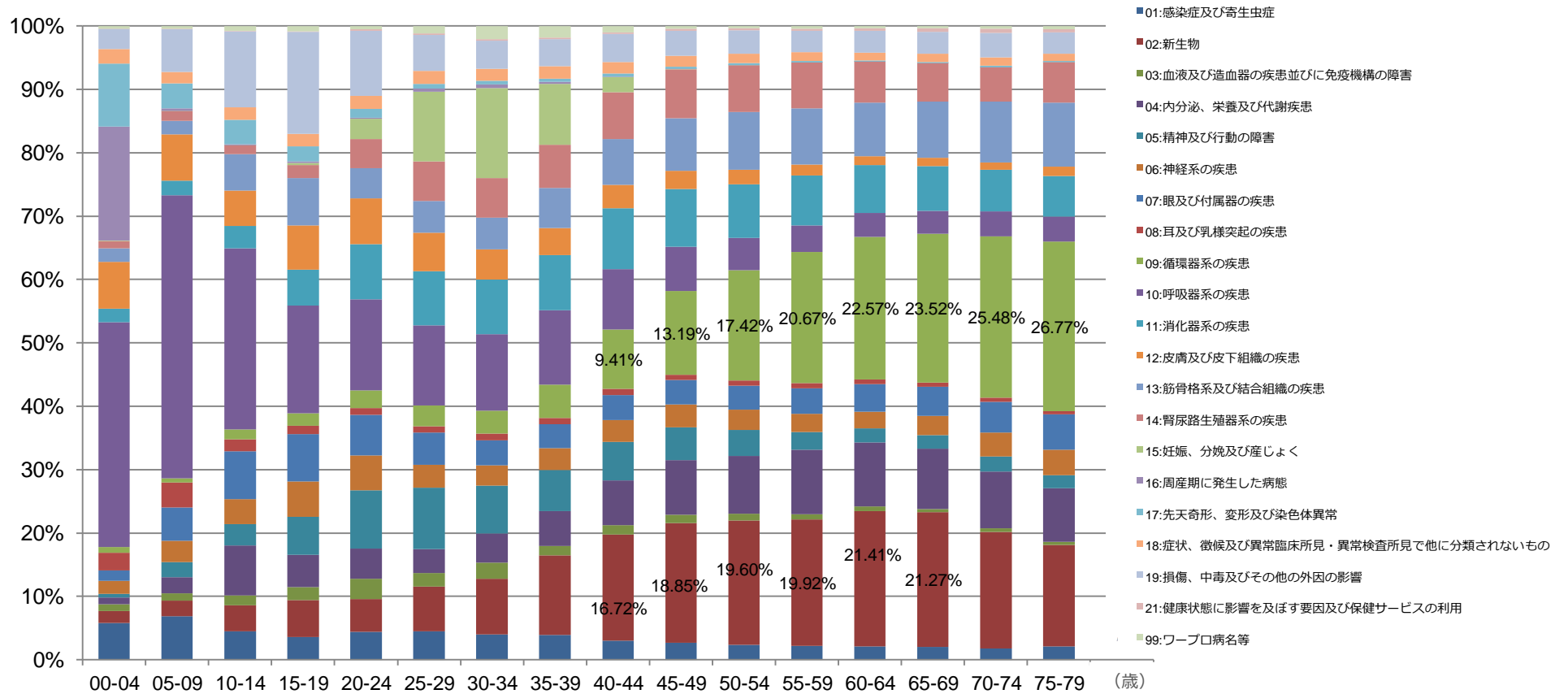
医科・全体	受診者数	レセプト件数	医療費
	405 万 9,216 名	2,723 万 2,319 件	4,415 億 1,688 万 3,720 円



年齢階層	00-04	05-09	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94
加入者数	257,819	288,498	307,743	304,552	320,780	351,462	379,283	473,809	477,707	412,940	351,754	339,600	292,806	91,654	47,219	4,808	5	2	1

## H23年度『医科』（入院・入院外）に占める年齢階層別 19 疾病分類の医療費構成割合

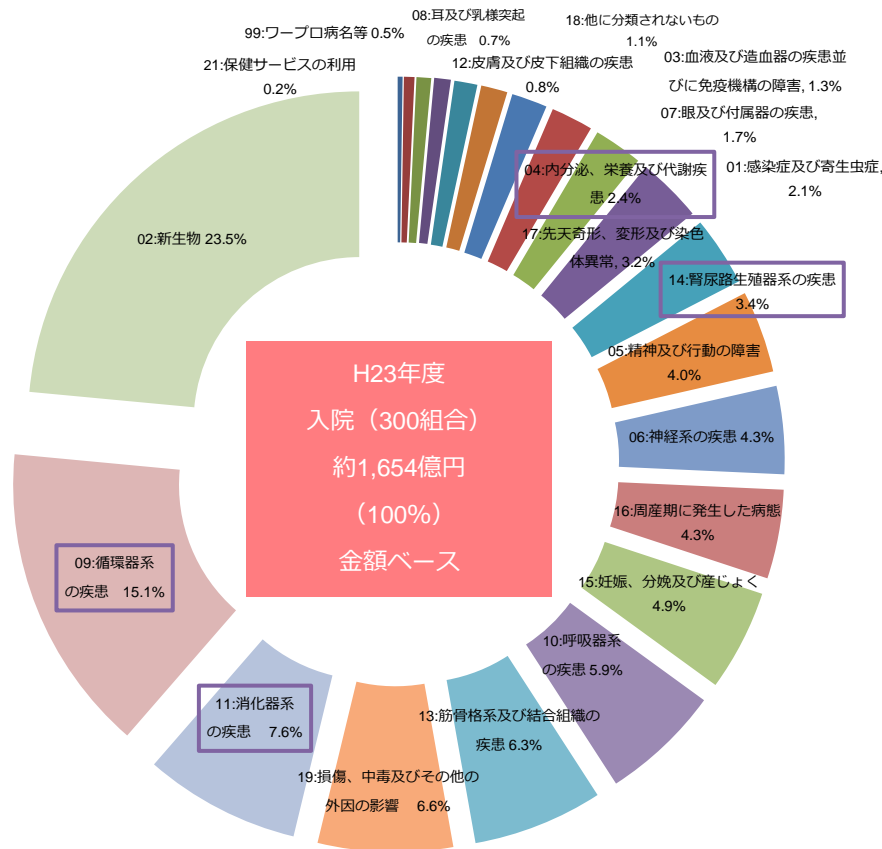
- 「循環器」 ■ は、『40～44 歳』以降、高い割合を示すようになり、年齢階層が上がるにつれて高くなっている。なお、『75～79 歳』で 26.7%と最も高くなっている。
- 『45～69 歳』の医療費のうち、「新生物」 ■ が各年齢階層で約 20%を占めている。



## H23年度 入院の疾患別割合

加入者総数	300 組合	470 万 2,442 名
レセプト件数		38 万 2,239 件
金額		1,653 億 9,868 万 9,330 円

○入院は総額約 1,654 億となっており、そのうち生活習慣病 8 疾患は全体の約 4.5% (約 74 億円 : p13 参照) となっている。  
 ○なお、疾患別では、①新生物 : 23.5%と圧倒的に高く、次いで、②呼吸器系 : 15.1%、③消化器 : 7.6%—が高い割合を示している。



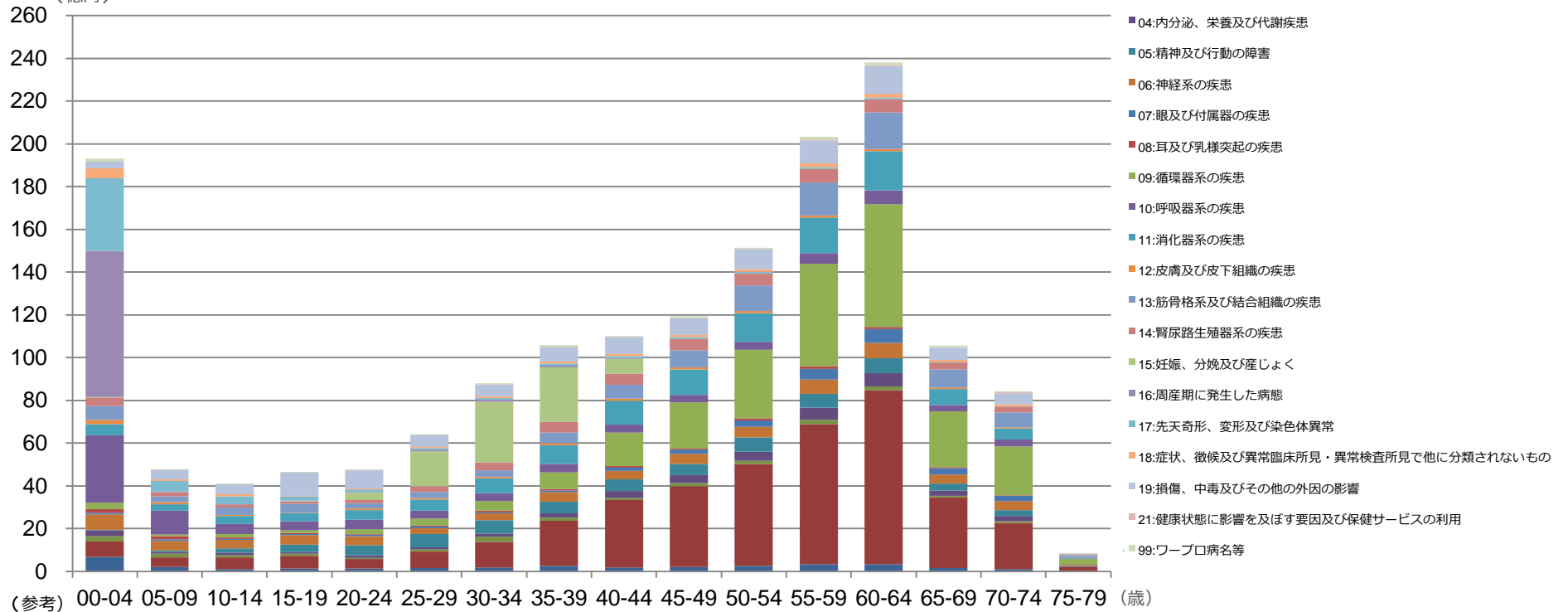
19 疾病分類	割合	ICD10 の割合
01:感染症及び寄生虫症	2.1%	0.0%
02:新生物	23.5%	0.0%
03:血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1.3%	0.0%
04:内分泌、栄養及び代謝疾患	2.4%	1.2%
05:精神及び行動の障害	4.0%	0.0%
06:神経系の疾患	4.3%	0.0%
07:眼及び付属器の疾患	1.7%	0.0%
08:耳及び乳様突起の疾患	0.7%	0.0%
09:循環器系の疾患	15.1%	3.2%
10:呼吸器系の疾患	5.9%	0.0%
11:消化器系の疾患	7.6%	0.0%
12:皮膚及び皮下組織の疾患	0.8%	0.0%
13:筋骨格系及び結合組織の疾患	6.3%	0.0%
14:腎尿路生殖器系の疾患	3.4%	0.0%
15:妊娠、分娩及び産じょく	4.9%	0.0%
16:産産期に発生した病態	4.3%	0.0%
17:先天奇形、変形及び染色体異常	3.2%	0.0%
18:症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1.1%	0.0%
19:損傷、中毒及びその他の外因の影響	6.6%	0.0%
21:健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0.2%	0.0%
99:ワープロ病名等	0.5%	0.0%
生活習慣病 ICD10 8 疾患		4.5%

## H23年度 入院に占める年齢階層別 19 疾病分類の医療費状況

- 入院では、35歳以降、全体に占める新生物 ■ の医療費が高くなり、『60-64歳』で最も高い。
- また、『50-74歳』の医療費の内訳をみると、①「循環器」 ■ と②「新生物」 ■ で半分以上を占めるなど、同2疾患の比重が高い。

医科・全体	受診者数	レセプト件数	医療費
	23万3,041名	38万2,239件	1,653億9,868万9,330円

(億円)



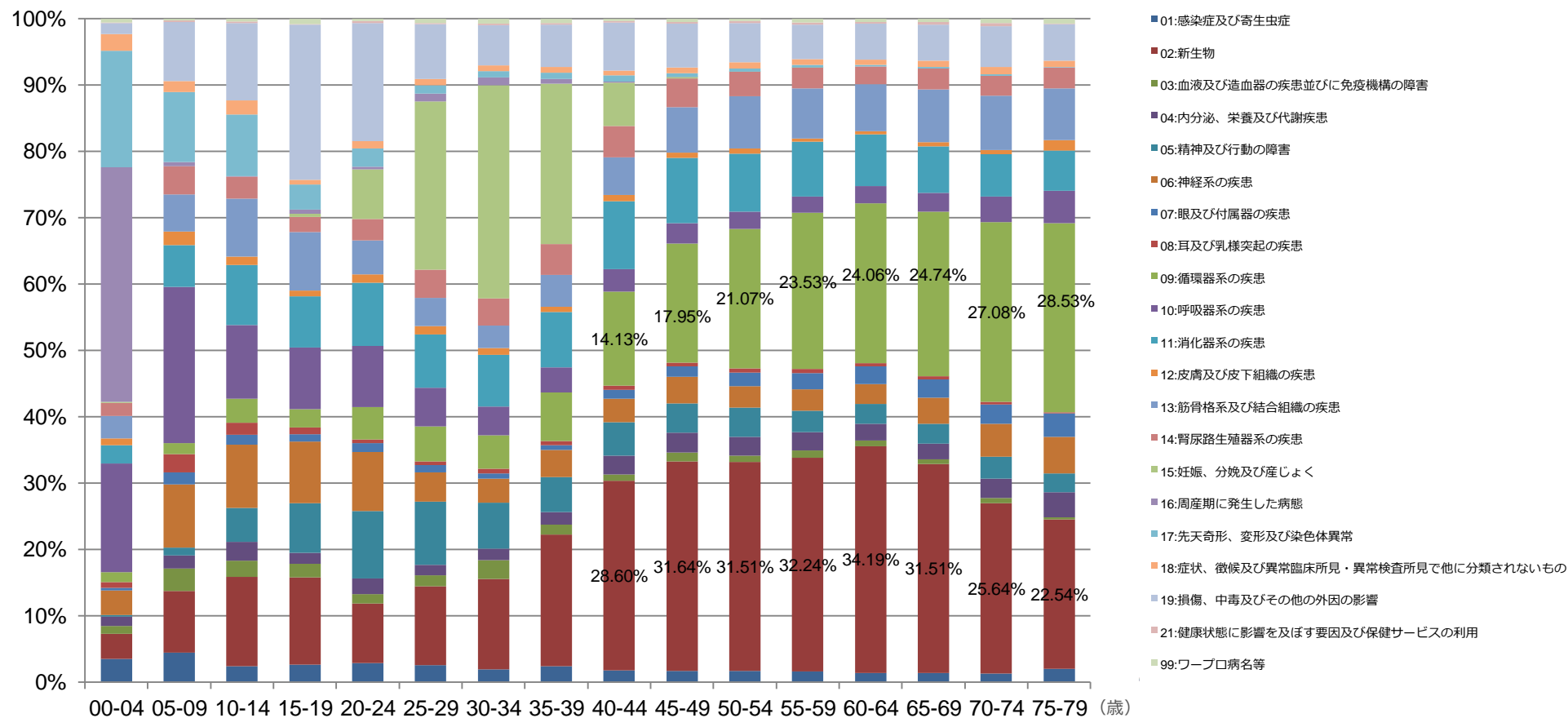
年齢階層	00-04	05-09	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94
加入者数	257,819	288,498	307,743	304,552	320,780	351,462	379,283	473,809	477,707	412,940	351,754	339,600	292,806	91,654	47,219	4,808	5	2	1

- 01:感染症及び寄生虫症
- 02:新生物
- 03:血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害
- 04:内分泌、栄養及び代謝疾患
- 05:精神及び行動の障害
- 06:神経系の疾患
- 07:眼及び付属器の疾患
- 08:耳及び乳様突起の疾患
- 09:循環器系の疾患
- 10:呼吸器系の疾患
- 11:消化器系の疾患
- 12:皮膚及び皮下組織の疾患
- 13:筋骨格系及び結合組織の疾患
- 14:泌尿路生殖器系の疾患
- 15:妊娠、分娩及び産じょく
- 16:周産期に発生した病態
- 17:先天奇形、変形及び染色体異常
- 18:症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- 19:損傷、中毒及びその他の外因の影響
- 21:健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- 99:ワープロ病名等



## H23年度 入院に占める年齢階層別 19 疾病分類の医療費構成割合

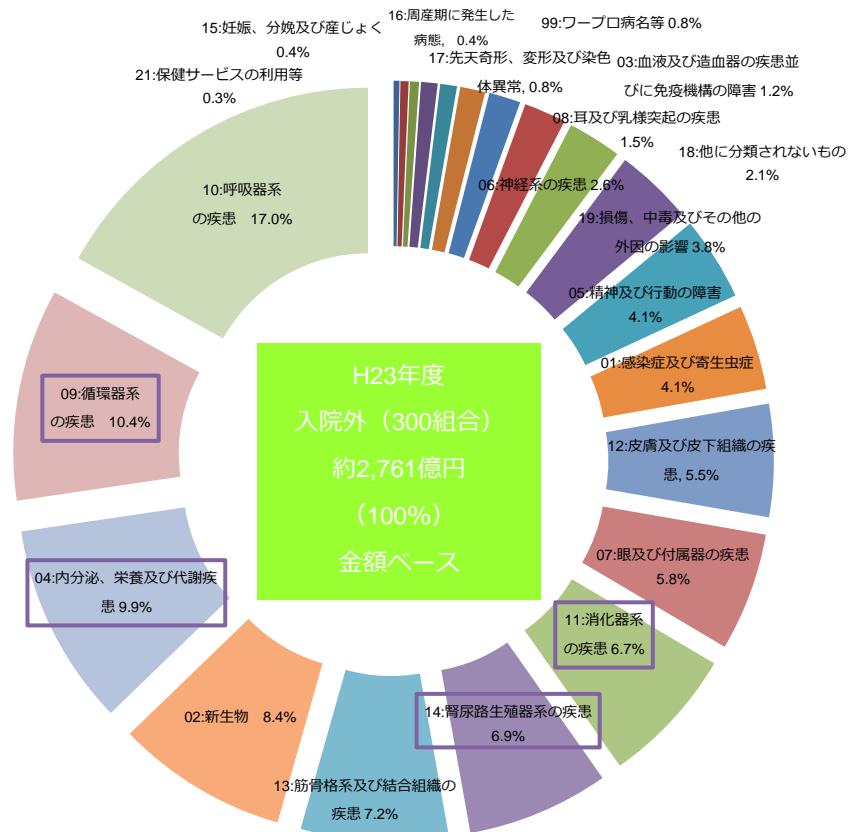
- 『40-69 歳』の年齢階層に着目すると、「新生物」■が「循環器」■の割合を上回っている。
- また、年齢階層が上がるにつれて、「循環器」■の割合が高くなり、50 歳以降で 20%を占め、『75-79 歳』で 28.53%と最も高い。



## H23年度 入院外の疾患別割合

加入者総数	300 組合	470 万 2,442 名
レセプト件数		2,685 万 80 件
金額		2761 億 1,819 万 4,390 円

○入院外は総額約 2,761 億円となっており、そのうち生活習慣病 8 疾患は全体の約 14.7%（約 406 億円：p13 参照）となっている。  
 ○なお、疾患別割合では、①呼吸器：17.0%、②循環器：10.4%、③内分泌、栄養及び代謝：9.9%—が高い割合を示している。

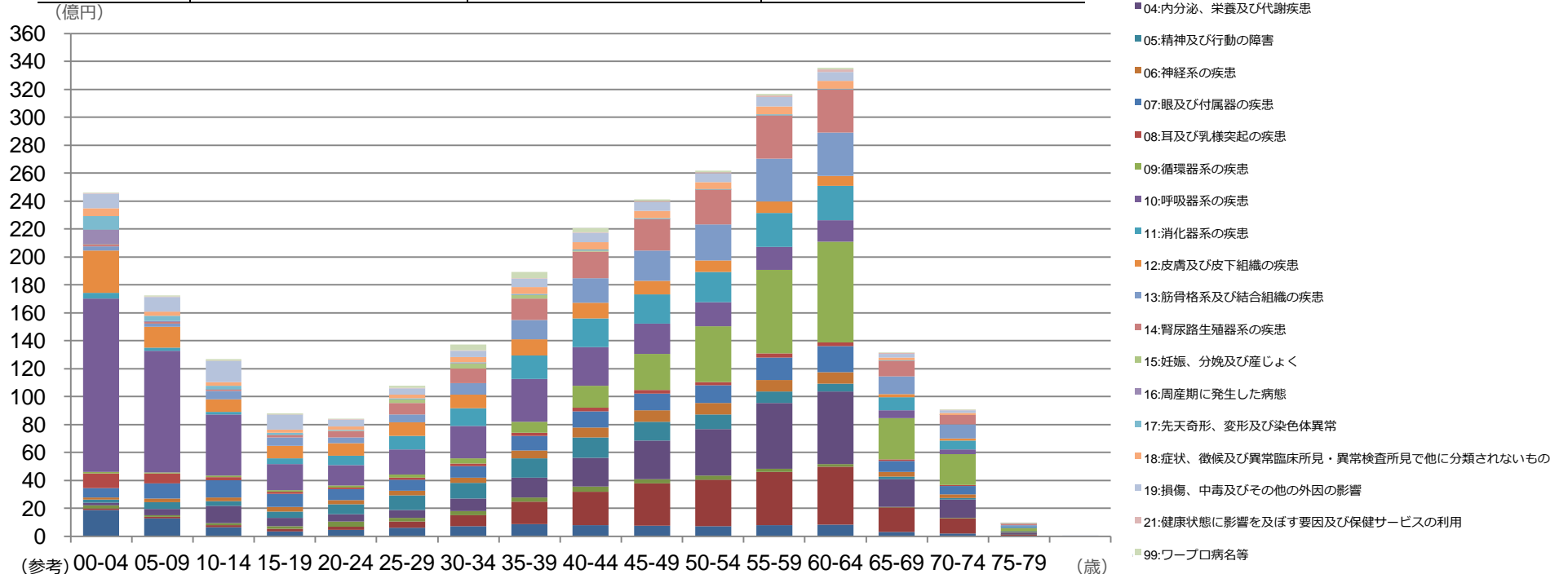


19 疾病分類	割合	ICD10 の割合
01:感染症及び寄生虫症	4.1%	0.0%
02:新生物	8.4%	0.0%
03:血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1.2%	0.0%
04:内分泌、栄養及び代謝疾患	9.9%	6.6%
05:精神及び行動の障害	4.1%	0.0%
06:神経系の疾患	2.6%	0.0%
07:眼及び付属器の疾患	5.8%	0.0%
08:耳及び乳様突起の疾患	1.5%	0.0%
09:循環器系の疾患	10.4%	8.0%
10:呼吸器系の疾患	17.0%	0.0%
11:消化器系の疾患	6.7%	0.1%
12:皮膚及び皮下組織の疾患	5.5%	0.0%
13:筋骨格系及び結合組織の疾患	7.2%	0.0%
14:腎尿路生殖器系の疾患	6.9%	0.0%
15:妊娠、分娩及び産じょく	0.4%	0.0%
16:周産期に発生した病態	0.4%	0.0%
17:先天奇形、変形及び染色体異常	0.8%	0.0%
18:症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2.1%	0.0%
19:損傷、中毒及びその他の外因の影響	3.8%	0.0%
21:健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0.3%	0.0%
99:ワープロ病名等	0.8%	0.0%
<b>生活習慣病 ICD10 8 疾患</b>		<b>14.7%</b>

## H23年度 入院外に占める年齢階層別 19 疾病分類の医療費状況

- 入院外では、『40-64 歳』で、①「新生物」■、②「内分泌、栄養及び代謝」■、③「循環器」■ – の医療費が高くなる傾向にある。
- とくに、年齢階層が上がるにつれて、「循環器」■の医療費の比重が大きくなっていることがわかる。

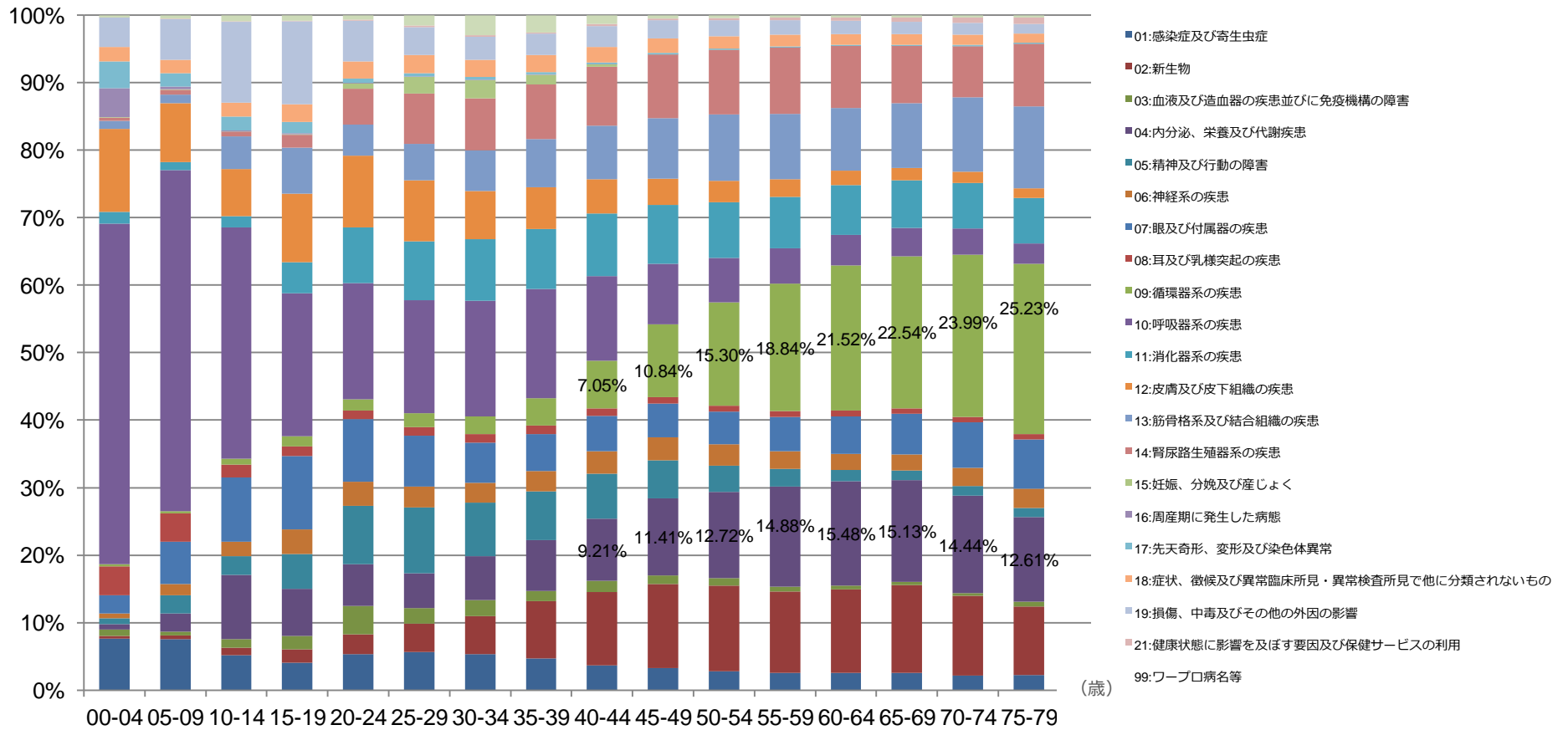
医科・全体	受診者数	レセプト件数	医療費
	405 万 4,345 名	2,685 万 80 件	2,761 億 1,819 万 4,390 円



年齢階層	00-04	05-09	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94
加入者数	257,819	288,498	307,743	304,552	320,780	351,462	379,283	473,809	477,707	412,940	351,754	339,600	292,806	91,654	47,219	4,808	5	2	1

## H23年度 入院外に占める年齢階層別 19 疾病分類の医療費構成割合

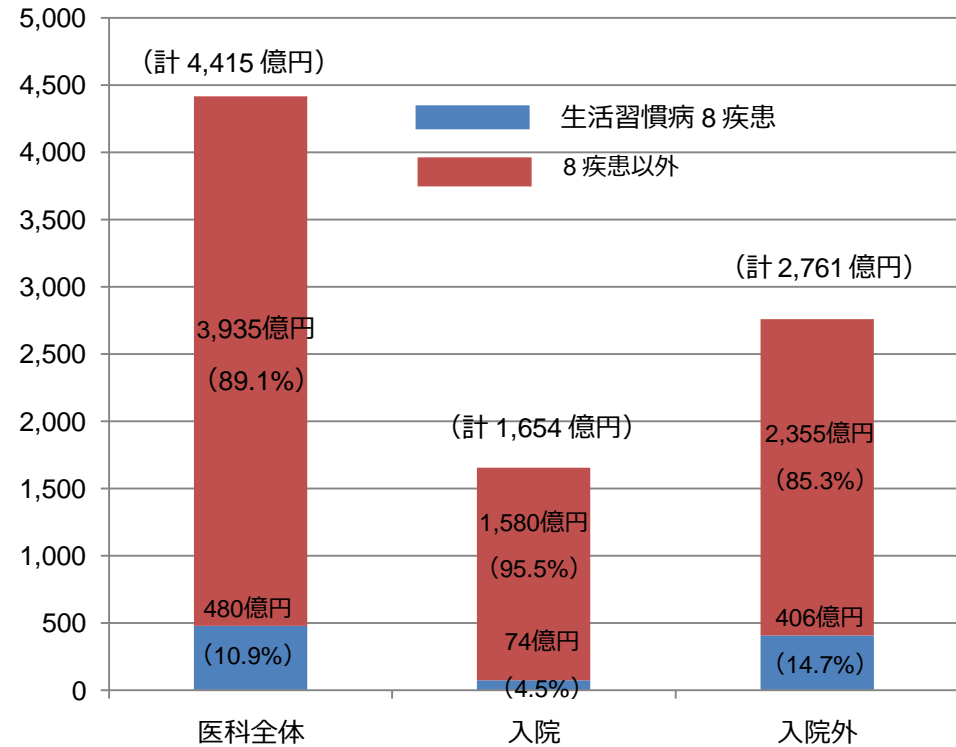
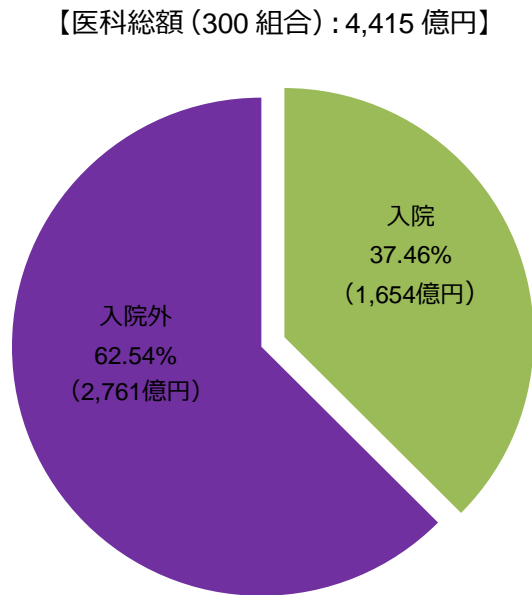
- 入院外では、年齢階層が上がるにつれて、「循環器」■の割合が増加していく傾向にあり、『75-79歳』で25.23%と最も高い。
- 入院とは異なり、「内分泌、栄養及び代謝」■の割合が40歳以降、高くなる傾向が観察される。



## H23 年度 入院・入院外の割合と生活習慣病 8 疾患 (ICD10) の割合

- 医科総額：約 4,415 億円 (300 組合) の入院・入院外の割合をみると、入院：37.5%、入院外：62.5%となっている。
- 生活習慣病 8 疾患は、医科全体で 10.9%を占め、入院で 4.5%、入院外で 14.7%となっている。

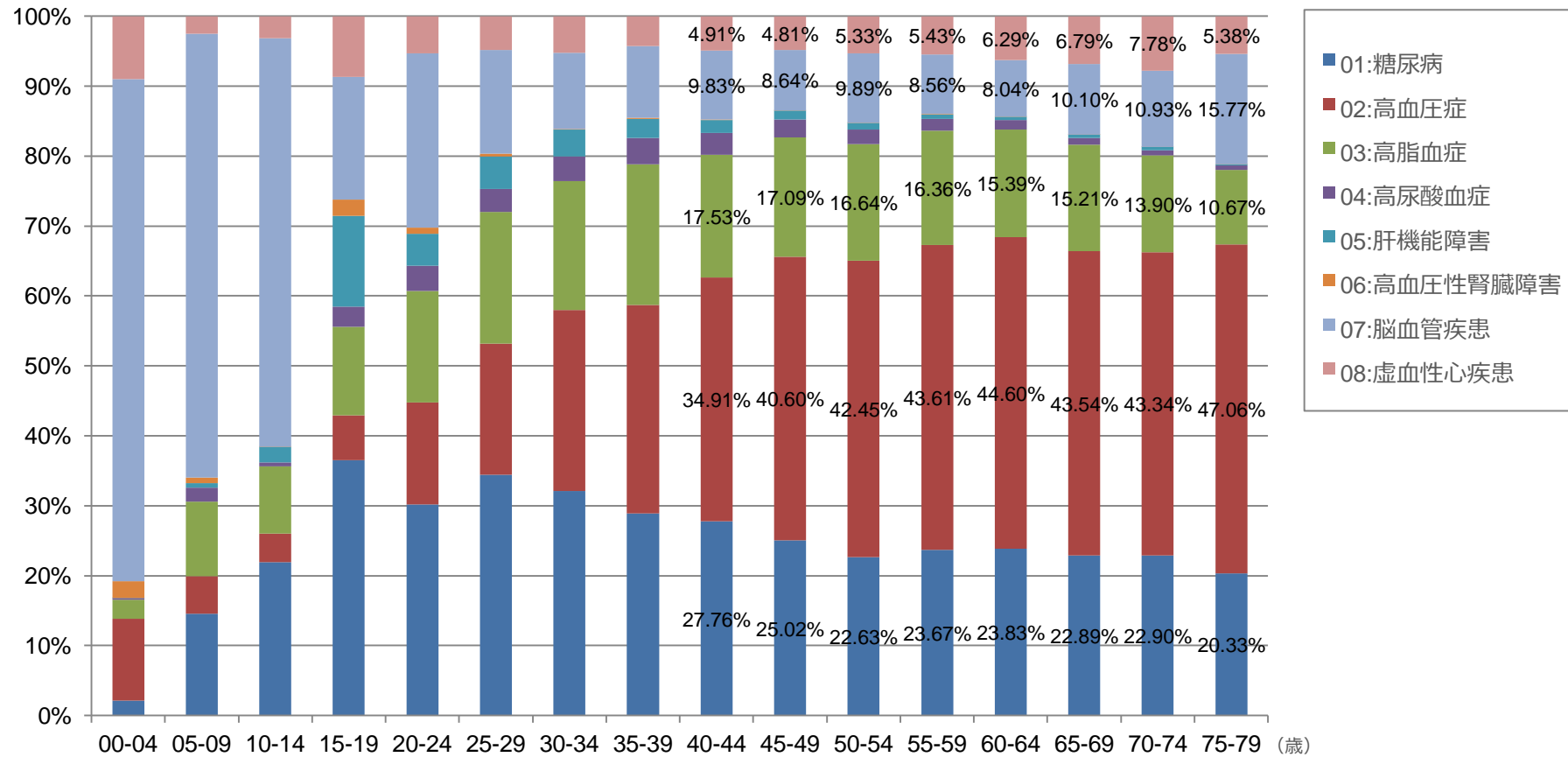
### 医科：入院・入院外の割合 (金額ベース)





## H23年度『医科』（入院・入院外）に占める年齢階層別生活習慣病8疾患の医療費構成割合

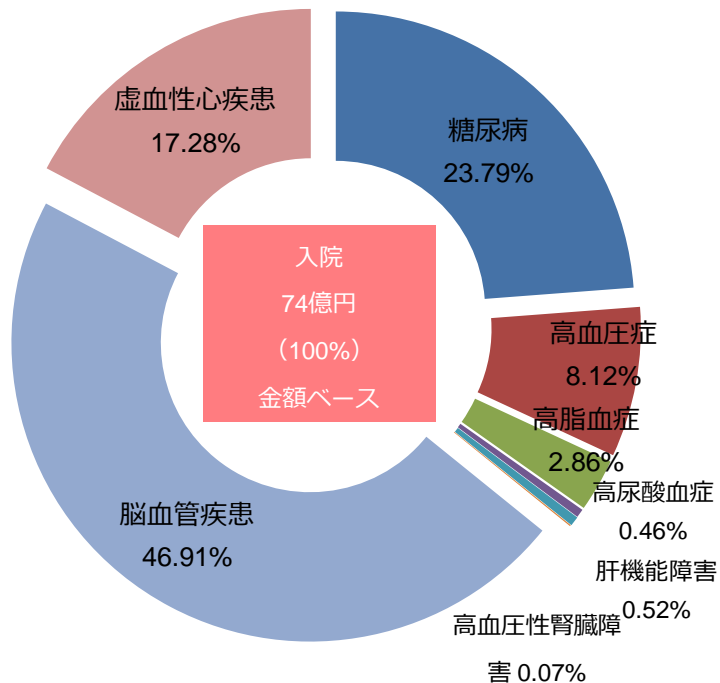
- 医科全体では、40歳以降のすべての年齢階層において、①「高血圧症」■の割合が最も高く、ついで②「糖尿病」■、③「高脂血症」■、④「脳血管疾患」■、⑤虚血性心疾患■となっている。
- また、構成割合で見ると「糖尿病」は中高年層より若年層（20-39歳）において比較的高い傾向にある。



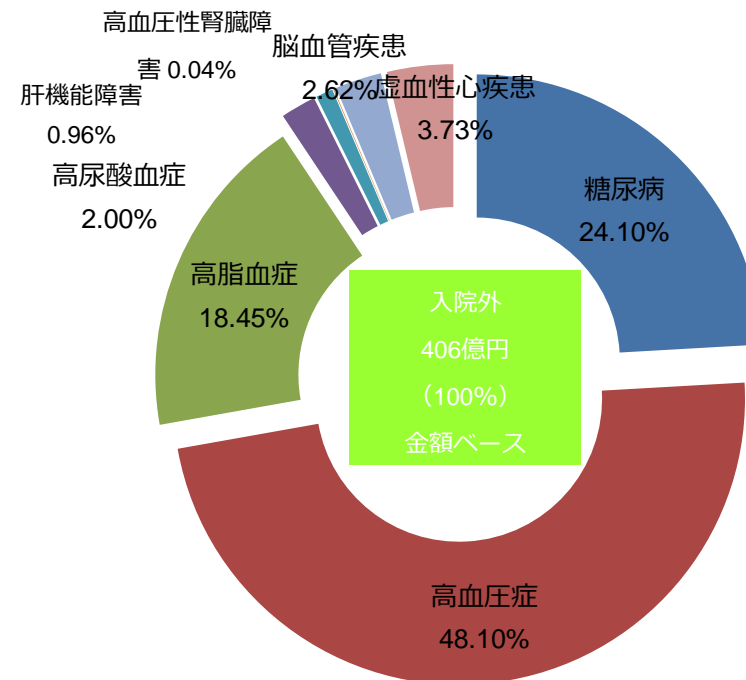
## H23 年度 生活習慣病 8 疾患の疾患別割合（入院・入院外）

- 円グラフは、生活習慣病 8 疾患について入院・入院外別に疾患割合をみたものである。
- 入院では、①脳血管疾患が約 47%と 5 割近くを占めており、ついで、②糖尿病：約 24%、③虚血性心疾患：約 17%—となっている。
- 入院外では、①高血圧症が 5 割近くを占め、ついで、②糖尿病：約 24%、③高脂血症：約 18%—となっている。

入院	
入院に占める割合	4.47%
金額	73 億 9,821 万 390 円
レセプト件数	1 万 4,300 件



入院外	
入院に占める割合	14.71%
金額	406 億 1,276 万 9,390 円
レセプト件数	349 万 2,964 件

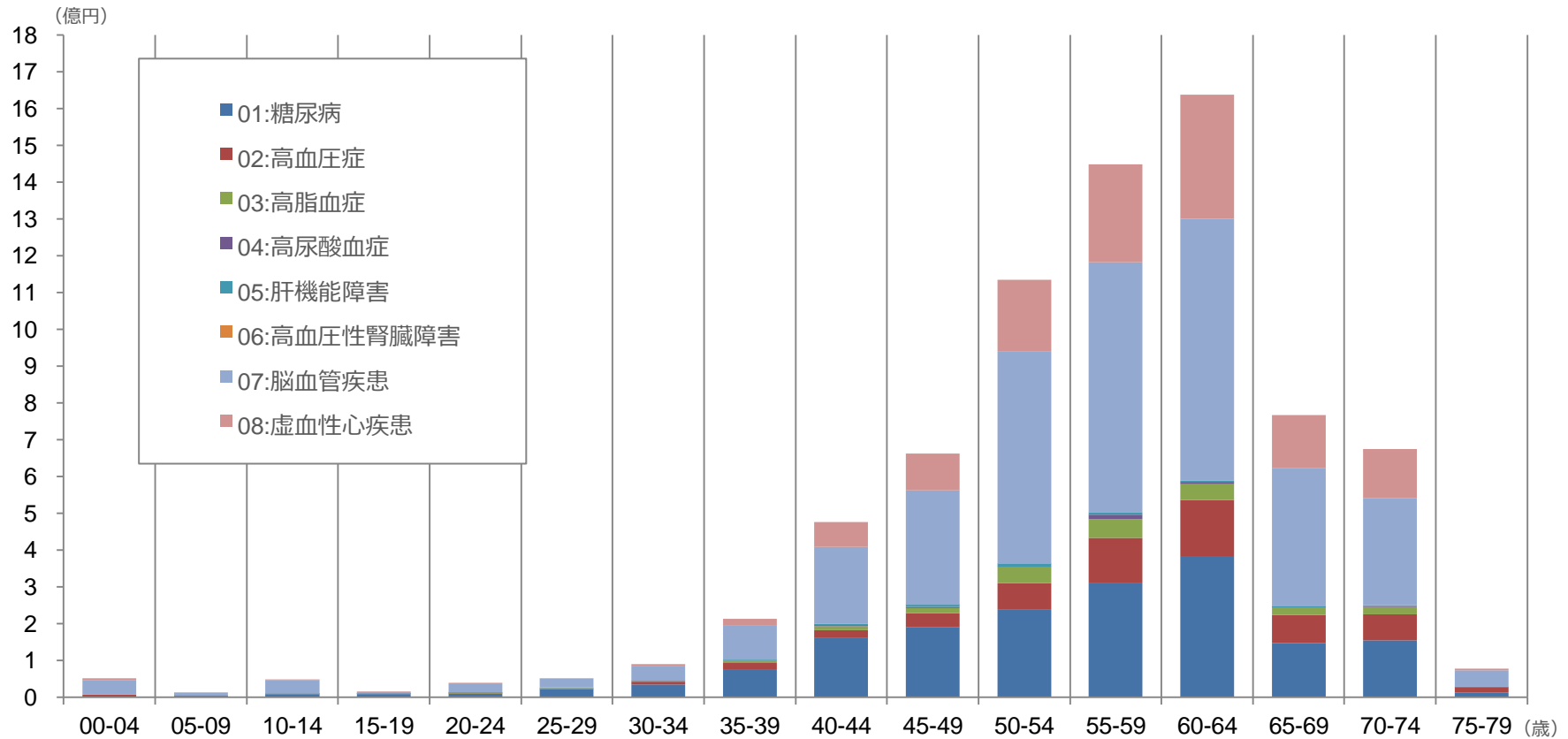




## H23 年度 入院に占める年齢階層別生活習慣病 8 疾患の医療費状況

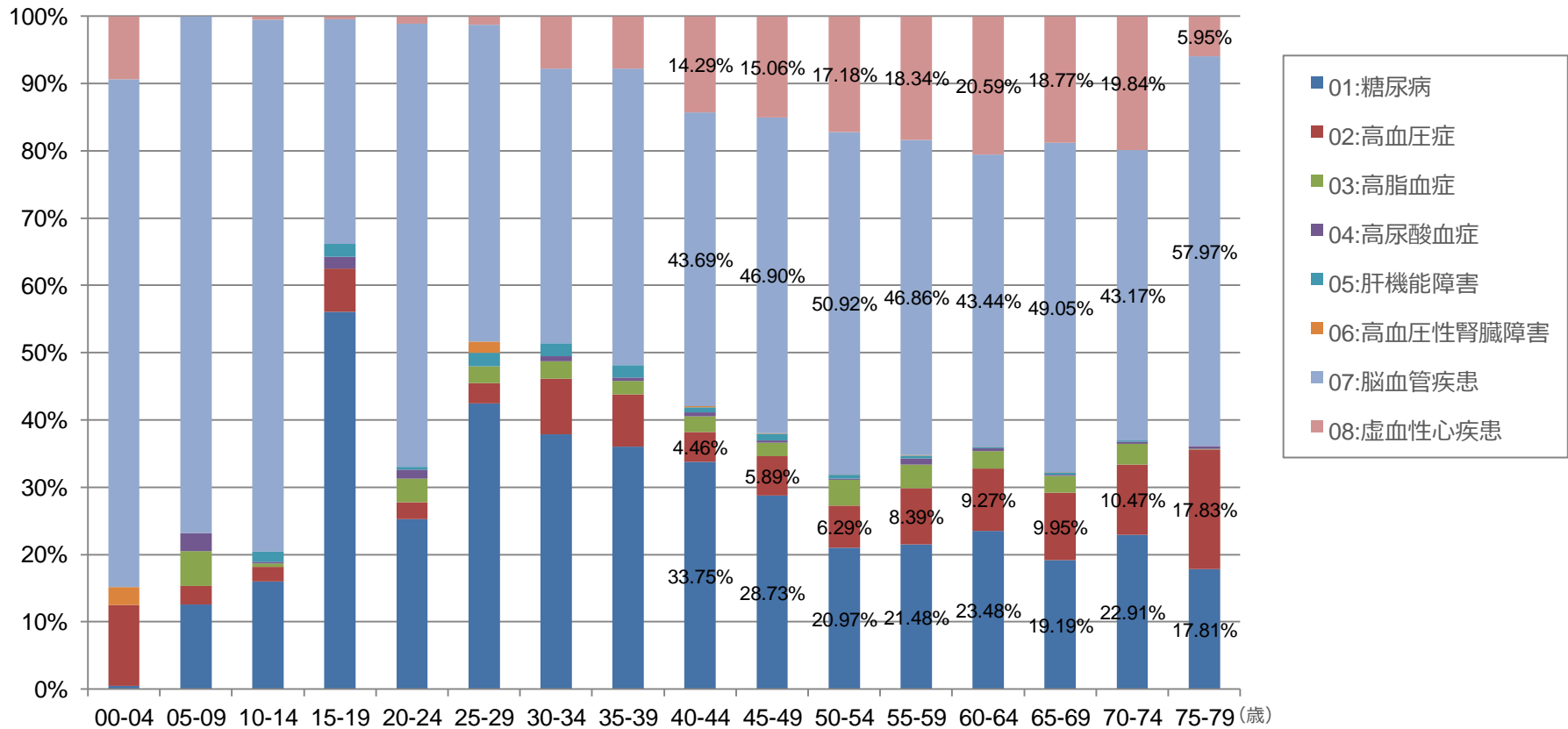
- 入院では、各年齢階層とも①「脳血管疾患」■の医療費が高く、ついで②「糖尿病」■、③「虚血性心疾患」■が高くなる傾向にある。
- また 50 歳以降では、上記 3 疾患に加え、「高血圧症」■の医療費が高くなっている。

医科・入院	受診者数	レセプト件数	医療費
4.47%	8,500 名	1 万 4,300 件	73 億 9,821 万 390 円



## H23年度 入院に占める年齢階層別生活習慣病8疾患の医療費構成割合

- 入院では、各年齢階層とも「脳血管疾患」■の割合が高く、40歳以降では、各年齢層で40-50%となっている。
- また、40歳以降では、「脳血管疾患」について、「糖尿病」■の割合が高いものの、年齢階層が上がるにつれて割合は低くなり、逆に、「虚血性心疾患」■、「高血圧症」■一が高くなる傾向が伺える。



## H23 年度 生活習慣病 8 疾患の受診者 1 人あたり医療費（入院・入院外）

### 入院

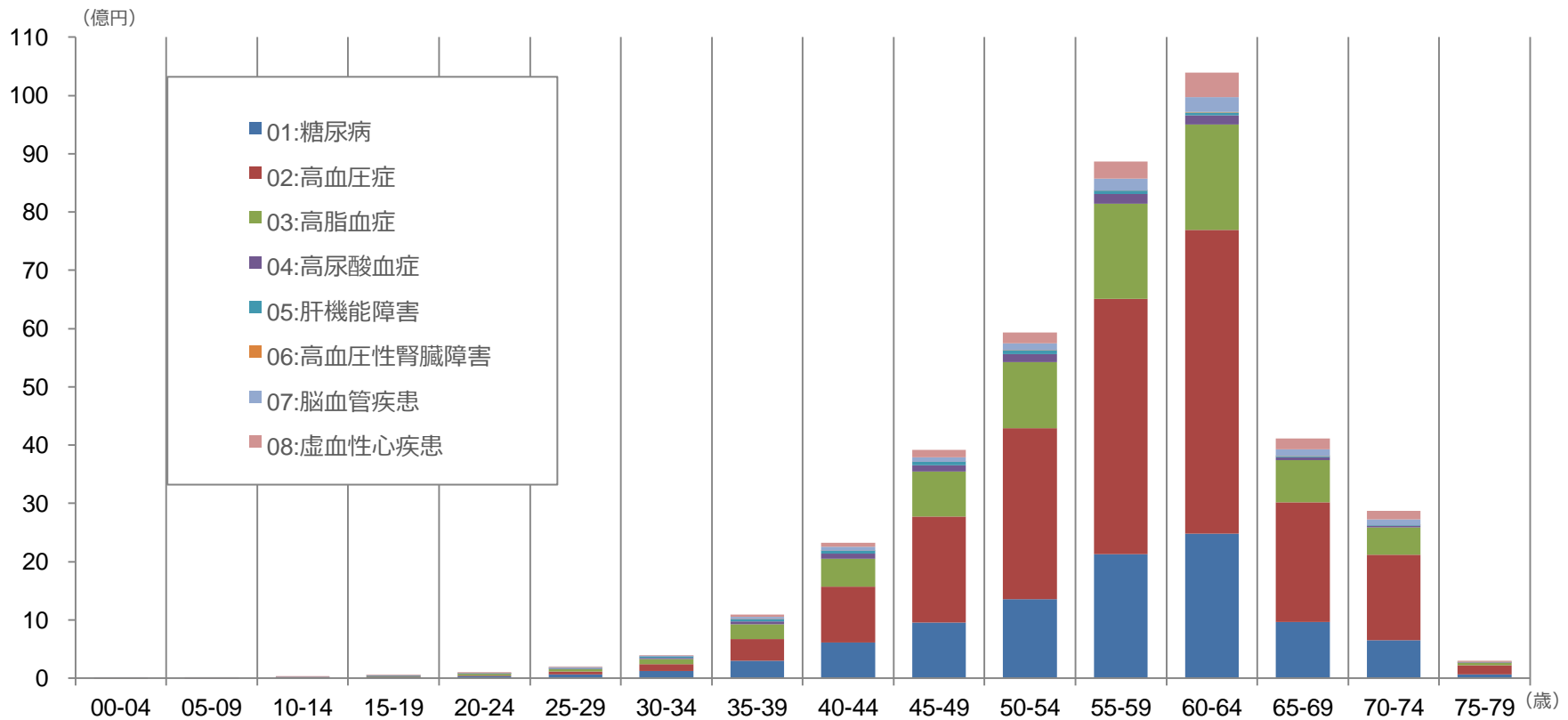
- 入院における受診者 1 人あたり医療費をみると、8 疾患で約半数を占める「脳血管疾患」は受診者 1 人あたり平均約 179 万円（受診者数 1,935 名）となっている。
- 「脳血管疾患」の次に高い割合（約 24% : p16 参照）を示す「糖尿病」は、受診者 1 人あたり平均約 51 万円（受診者数 3,427 名）となっている。



## H23 年度 入院外に占める年齢階層別生活習慣病 8 疾患の医療費状況

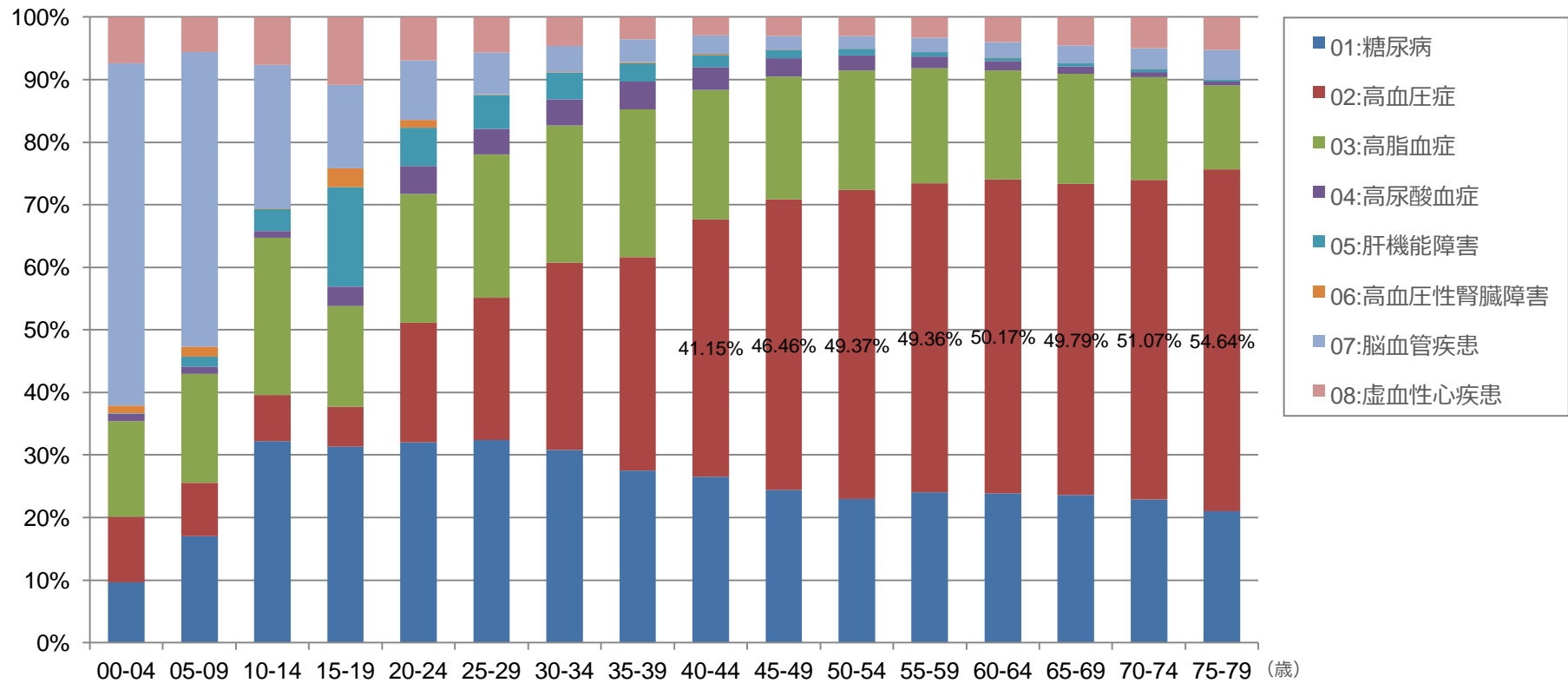
○入院外では、とくに 40 歳以降、①「高血圧症」■、②「糖尿病」■、③「高脂血症」■ - の医療費が高くなっていく傾向が観察される。とくに、「高血圧症」■の医療費が高い。

医科・入院外	受診者数	レセプト件数	医療費
14.41%	55 万 130 名	349 万 2,964 件	406 億 1,276 万 9,630 円



## H23年度 入院外に占める年齢階層別生活習慣病8疾患の医療費構成割合

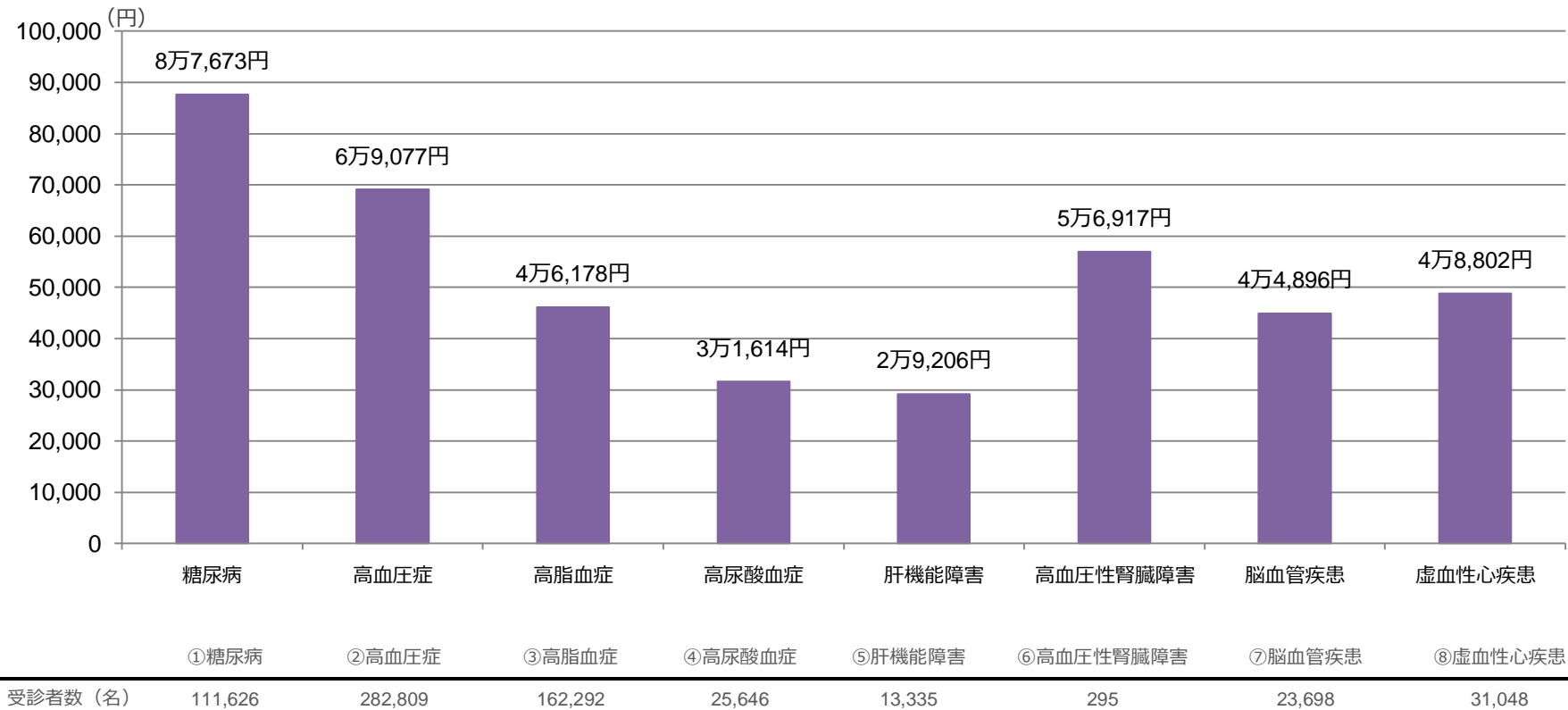
- 40歳以降では、「高血圧症」■の割合が圧倒的に高く、年齢階層が上がるにつれてその割合も高くなり、60歳以降で概ね50%を占め状況となっている。
- また、構成割合でみると、「糖尿病」■や「高脂血症」■は、30-39歳のほうが高い傾向にある。



## H23年度 生活習慣病 8疾患の受診者 1人あたり医療費（入院・入院外）

### 入院外

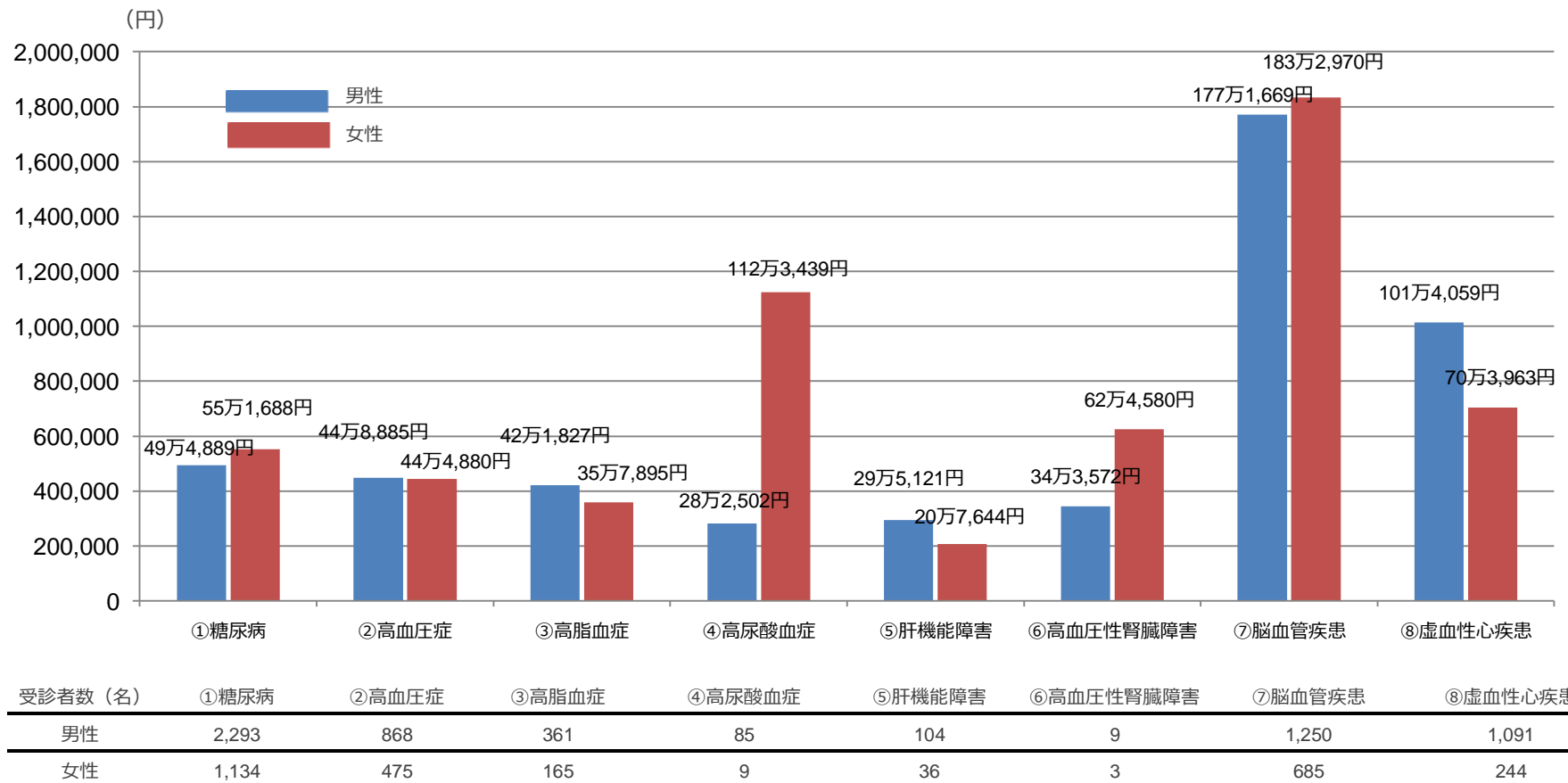
- 入院外における受診者 1人あたり医療費をみると、8疾患で約半数を占める「高血圧症」は受診者 1人あたり平均約 6.9 万円（受診者数 28 万 2,809 名）となっている。
- 「高血圧症」の次に高い割合（約 24%：p16 参照）を示す「糖尿病」は、受診者 1人あたり平均約 8.8 万円（受診者数 11 万 1,626 名）となっている。



## H23 年度 生活習慣病 8 疾患の男女別受診者 1 人当たり医療費（入院・入院外）

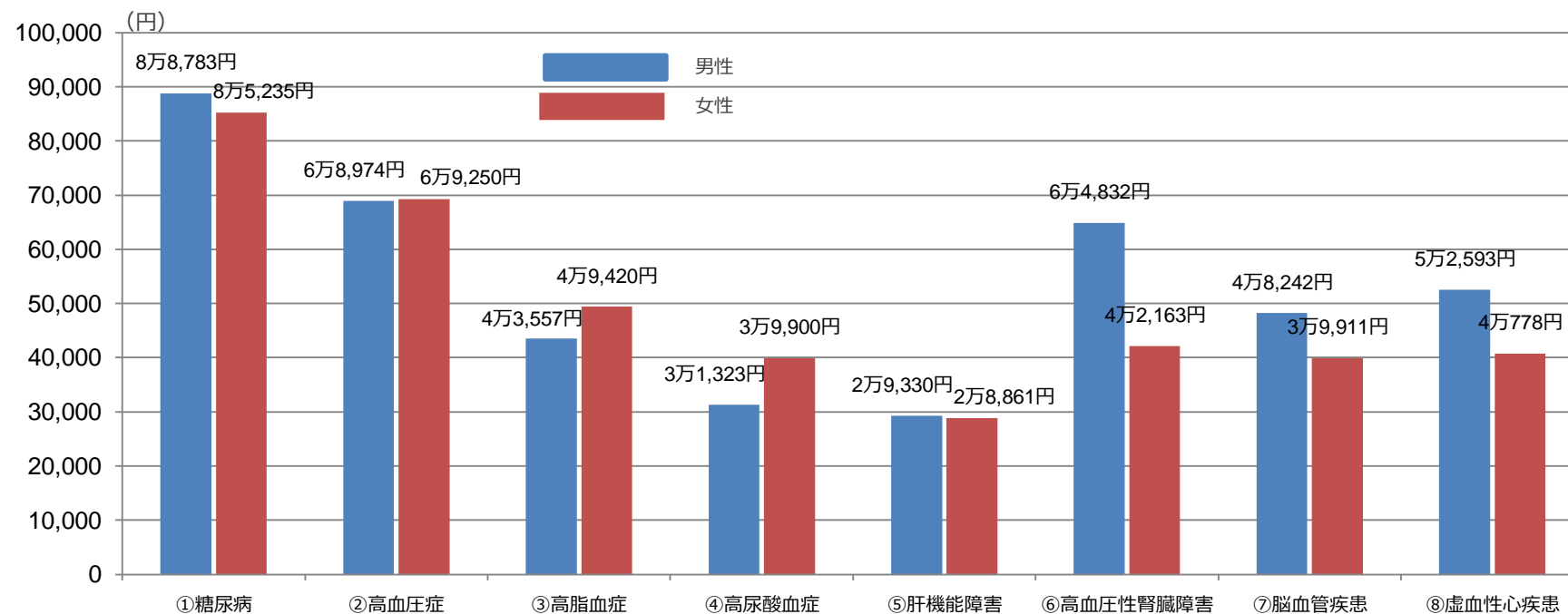
### 入院：男女別受診者 1 人当たり平均（単純比較）

○男女別に入院における受診者 1 人当たり医療費をみると、男女で格差が大きいのは、①高尿酸血症、②高血圧性腎臓障害、③虚血性心疾患—となっている。（ただし、単純比較のため、受診者数の違い等を考慮していない点に留意する必要がある。）



## 入院外：男女別受診者 1 人当たり平均（単純比較）

○男女別に入院外における受診者 1 人当たり医療費をみると、男女間で比較的格差が大きいのは、①高血圧性腎臓障害、②虚血性心疾患—となっており、そのほかの疾患では、それほど大きな違いはない傾向にある。（ただし、単純比較のため、受診者数の違い等を考慮していない点に留意する必要がある。）



受診者数（名）	①糖尿病	②高血圧症	③高脂血症	④高尿酸血症	⑤肝機能障害	⑥高血圧性腎臓障害	⑦脳血管疾患	⑧虚血性心疾患
男性	76,718	177,284	89,722	24,776	9,823	192	14,180	21,087
女性	34,908	105,525	72,570	870	3,512	103	9,518	9,961



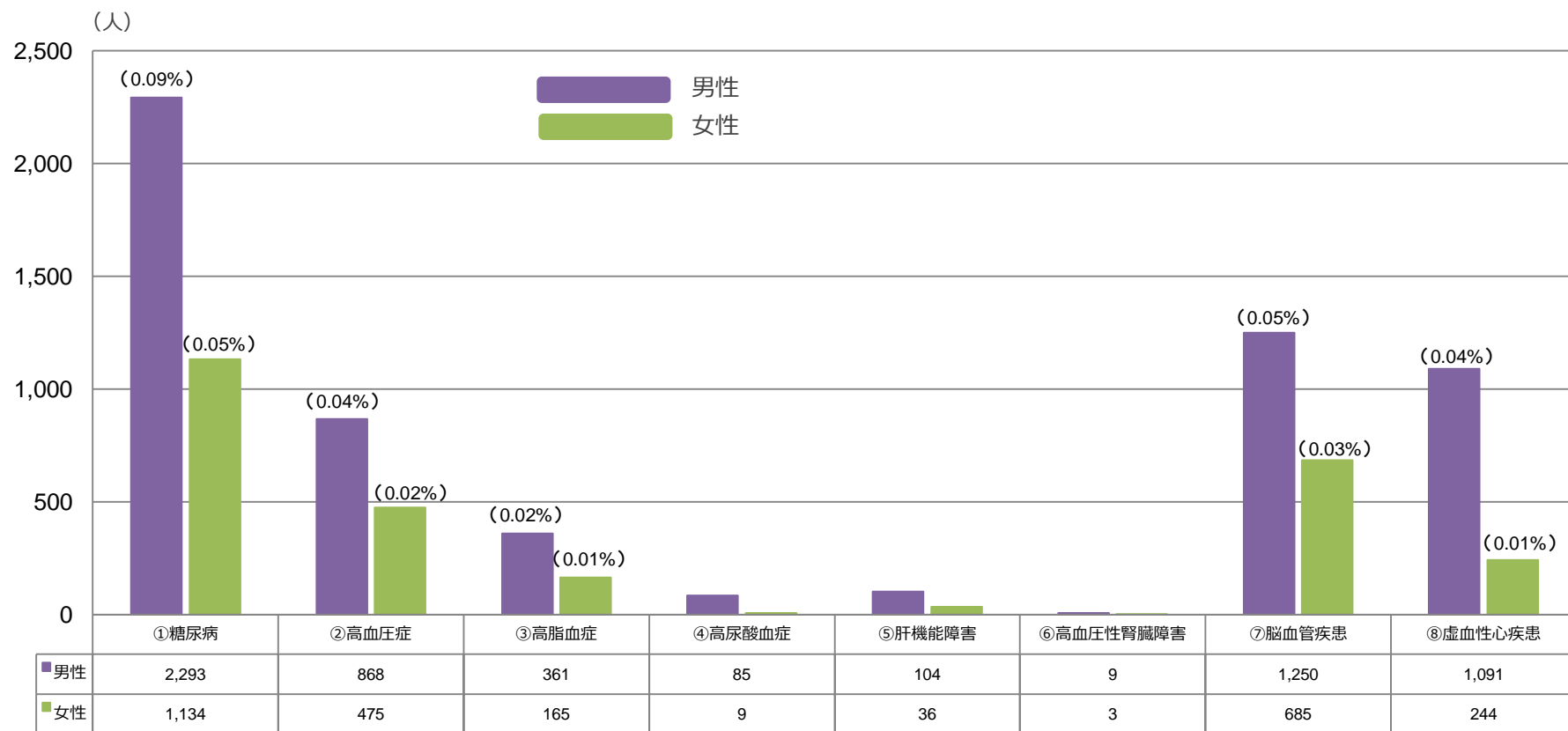
参 考

H23 年度 生活習慣病 8 疾患の男女別受診者数

加入者数	男性	女性
(H23 年)	247 万 7,277 名	222 万 5,165 名

入院

( ) 内は、加入者に占める受診者の割合 (受診者数÷男女別加入者数)



参 考

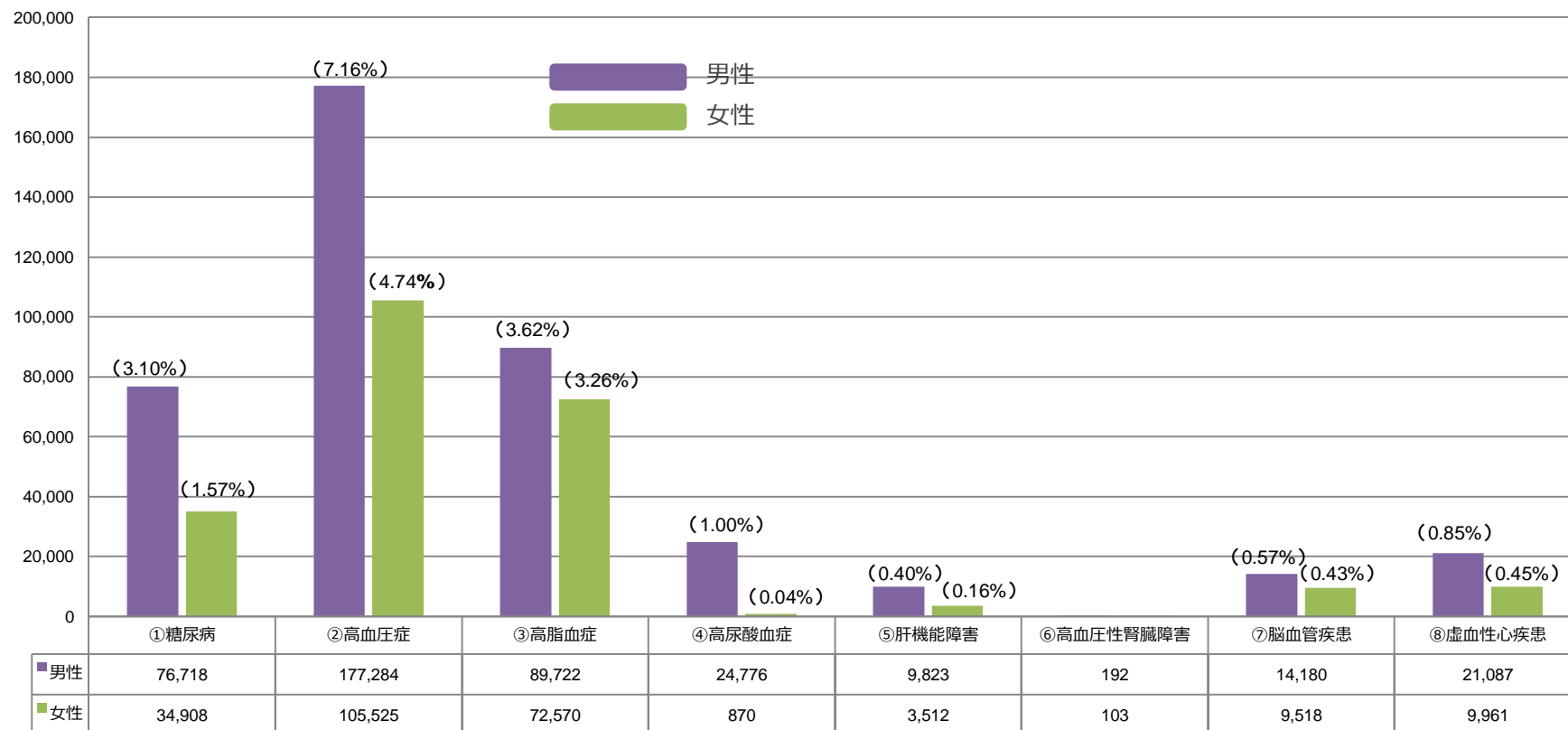
H23 年度 生活習慣病 8 疾患の男女別受診者数

加入者数	男性	女性
(H23 年)	247 万 7,277 名	222 万 5,165 名

入院外

( ) 内は、加入者に占める受診者の割合 (受診者数÷男女別加入者数)

(人)



## **第2部 23年度と22年度の生活習慣病医療費の比較**

(1) 診療報酬明細書（レセプト）の集計対象

平成 22 年 4 月～24 年 3 月診療分の「医科」レセプト 24 ヶ月を提供頂いた同一の 215 組合を対象。

診療年度	対象組合数	対象加入者数
H22(2010)年	215 組合（同一）	391 万 3,251 名
H23(2011)年		389 万 2,788 名

(2) 医科レセプトの内訳（件数、受診者数、実日数、医療費）

【平成 22 年 4 月～24 年 3 月診療分】

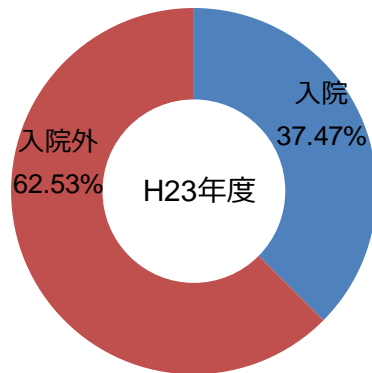
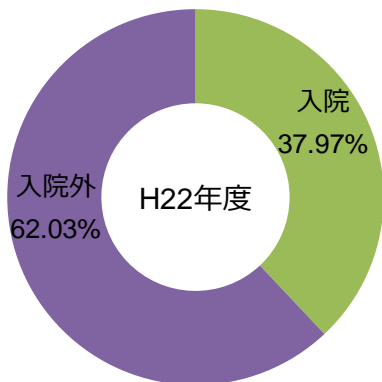
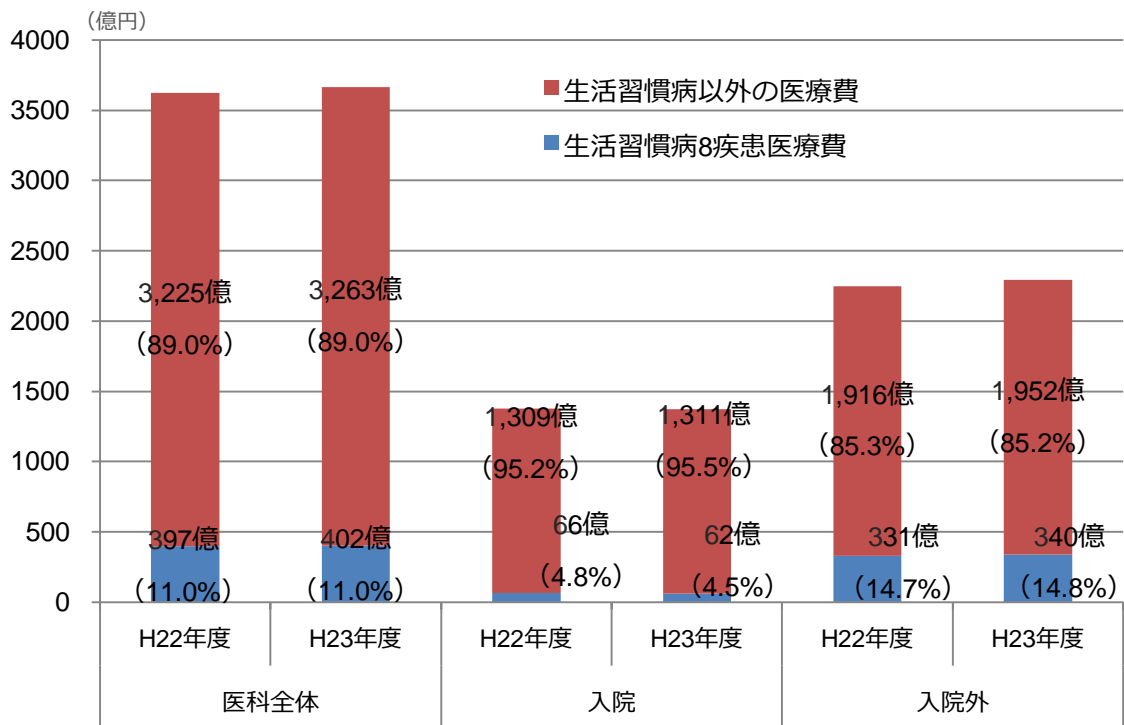
診療年度	点数表	区分	レセプト件数	受診者数	実日数	医療費
H22(2010)年	医科	入院	31 万 7,634 件	19 万 2,256 名	309 万 8,432 日	1,375 億 2,792 万 1,770
		入院外	2,196 万 1,245 件	333 万 4,515 名	3,343 万 5,263 日	2246 億 6,873 万 2,240
H23(2011)年	医科	入院	31 万 6,414 件	19 万 2,833 名	303 万 125 日	1372 億 9,485 万 1,360
		入院外	2,225 万 9,722 件	335 万 4,743 名	3,348 万 171 日	2,291 億 17400 万 290

(3) 生活習慣病の 8 疾患について

対象疾患	ICD10 コード
①糖尿病	E11～E14
②高血圧症	I10
③高脂血症	E780, E781, E785
④高尿酸血症	E790
⑤肝機能障害	K701, K760
⑥高血圧性腎臓障害	I129, N26
⑦脳血管疾患	I161, I639, I64
⑧虚血性心疾患	I209, I219, I259

資料：「標準的な健診・保健指導に関するプログラム（確定版）」（平成 19 年 4 月 厚生労働省 健康局 P146 参照）

医科総額（入院・入院外）と8疾患医療費のH23-22年度の比較



医療費の対前年度伸び率（単純比較）

総医療費	1.16%
入院	-0.17%
入院外	1.98%
生活習慣病以外	1.16%
入院	0.13%
入院外	1.86%
生活習慣病 8 疾患	1.18%
入院	-6.18%
入院外	2.65%

- 215 組合（同一）の 23 年度と 22 年度の「医科」（歯科、調剤を除く）の医療費を単純比較すると、伸び率は 1.16% の増加となっている。
  - 入院・入院外別では、入院：-0.17%、入院外：1.98% となっており、その結果、構成割合は 22 年度に比べ、入院が 0.5 ポイント減少、入院外が 0.5 ポイント増加している。
  - 生活習慣病 8 疾患では、全体で 1.18% の伸び率となっているものの、入院が 6.18% 減少に対して、入院外が 2.65% の増加となっている（詳細は p35 参照）。
- ※なお、対象組合が 215 組合であり、あくまでも単純比較のため、必ずしも全体を正確には反映しておらず、若干、偏りが生じている可能性もある点に留意されたい。

医科（入院・入院外）に占める生活習慣病 8 疾患の割合の推移（H23-22 年度） 金額ベース

19 疾病分類	割合	ICD10 分類による 8 疾患の割合	割合	ICD10 分類による 8 疾患の割合
	H23 年(2011)		H22 年(2010)	
1.感染症及び寄生虫症	3.3%		3.5%	
2.新生物	14.0%		14.1	
3.血液及び造血器、免疫機構の障害	1.3%		1.2%	
4.内分泌、栄養及び代謝疾患	7.1%	4.59%	7.0%	4.54%
5.精神及び行動の障害	4.1%		4.1%	
6.神経系の疾患	3.3%		3.1%	
7.眼及び付属器の疾患	4.3%		4.3%	
8.耳及び乳様突起の疾患	1.2%		1.3%	
9.循環器系の疾患	12.2%	6.27%	12.2%	6.3%
10.呼吸器系の疾患	12.7%		12.5%	
11.消化器系の疾患	7.0%	0.10%	7.1%	0.1%
12.皮膚及び皮下組織の疾患	3.7%		3.7%	
13.筋骨格系及び結合組織の疾患	6.9%		6.9%	
14.腎尿路生殖器系の疾患	5.6%	0.00%	5.7%	0.0%
15.妊娠、分娩及び産じょく	2.1%		2.1%	
16.周産期に発生した病態	1.9%		1.9%	
17.先天奇形、変形及び染色体異常	1.7%		1.7%	
18.分類されないもの	1.7%		1.7%	
19.損傷、中毒及びその他の外因の影響	4.8%		4.8%	
21.健康状態に影響を及ぼす要因	0.3%		0.3%	
99.ワープロ病名	0.7%		0.8%	
生活習慣病 ICD10 8 疾患		10.96%		10.96%

入院に占める生活習慣病 8 疾患の割合の推移（H23-22 年度）

19 疾病分類	割合	ICD10 分類による 8 疾患の割合	割合	ICD10 分類による 8 疾患の割合
	H23 年（2011）		H22 年（2010）	
1.感染症及び寄生虫症	2.0%		2.2%	
2.新生物	23.4%		23.6%	
3.血液及び造血器、免疫機構の障害	1.3%		1.3%	
4.内分泌、栄養及び代謝疾患	2.4%	1.23%	2.6%	1.28%
5.精神及び行動の障害	4.0%		4.0%	
6.神経系の疾患	4.4%		4.0%	
7.眼及び付属器の疾患	1.8%		1.7%	
8.耳及び乳様突起の疾患	0.7%		0.7%	
9.循環器系の疾患	15.2%	3.36%	15.1%	3.50%
10.呼吸器系の疾患	5.8%		5.7%	
11.消化器系の疾患	7.6%	0.02%	7.6%	0.00%
12.皮膚及び皮下組織の疾患	0.8%		0.8%	
13.筋骨格系及び結合組織の疾患	6.4%		6.4%	
14.腎尿路生殖器系の疾患	3.4%	0.00%	3.5%	0.02%
15.妊娠、分娩及び産じょく	4.9%		4.8%	
16.周産期に発生した病態	4.2%		4.3%	
17.先天奇形、変形及び染色体異常	3.2%		3.3%	
18.分類されないもの	1.1%		1.2%	
19.損傷、中毒及びその他の外因の影響	6.6%		6.3%	
21.健康状態に影響を及ぼす要因	0.2%		0.3%	
99.ワープロ病名	0.5%		0.7%	
生活習慣病 ICD10 8 疾患		4.51%		4.80%

入院外に占める生活習慣病 8 疾患の割合の推移 (H23-22 年度)

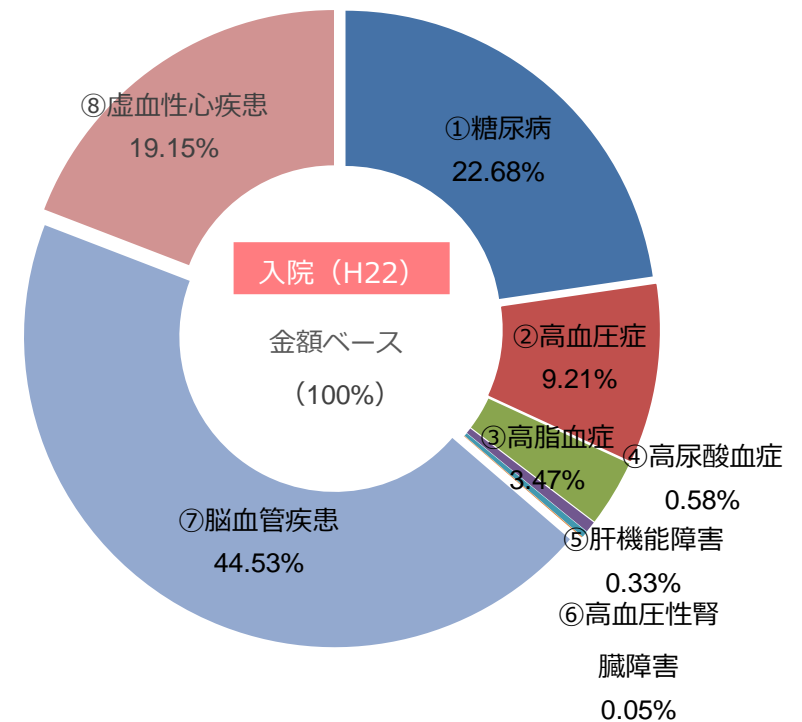
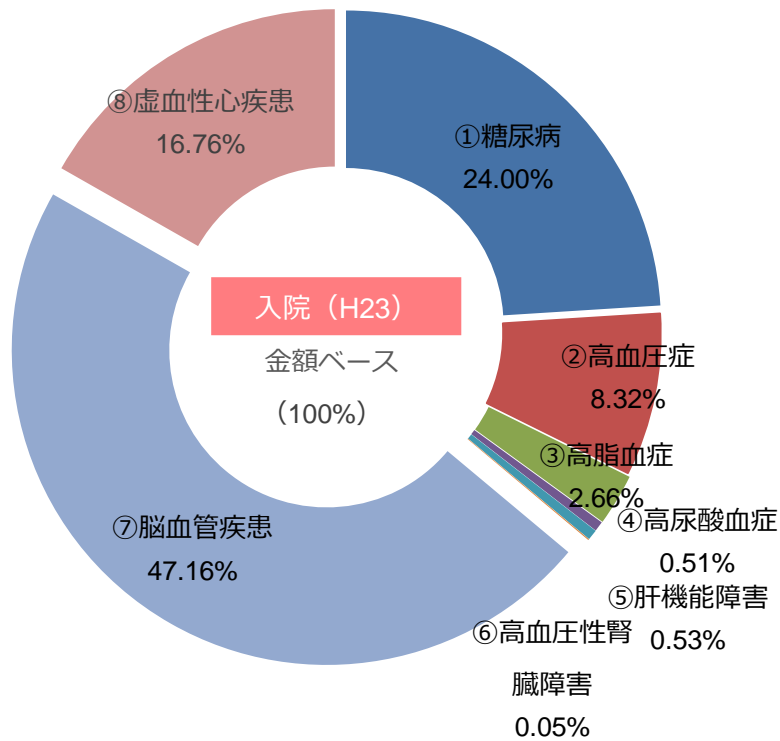
19 疾病分類	割合	ICD10 分類による 8 疾患の割合	割合	ICD10 分類による 8 疾患の割合
	H23 年 (2011)		H22 年 (2010)	
1.感染症及び寄生虫症	4.1%		4.3%	
2.新生物	8.4%		8.3%	
3.血液及び造血器、免疫機構の障害	1.3%		1.1%	
4.内分泌、栄養及び代謝疾患	9.9%	6.61%	9.8%	6.53%
5.精神及び行動の障害	4.1%		4.1%	
6.神経系の疾患	2.6%		2.5%	
7.眼及び付属器の疾患	5.8%		5.8%	
8.耳及び乳様突起の疾患	1.5%		1.7%	
9.循環器系の疾患	10.4%	8.07%	10.4%	8.03%
10.呼吸器系の疾患	16.9%		16.7%	
11.消化器系の疾患	6.7%	0.14%	6.7%	0.13%
12.皮膚及び皮下組織の疾患	5.5%		5.4%	
13.筋骨格系及び結合組織の疾患	7.2%		7.2%	
14.腎尿路生殖器系の疾患	6.9%	0.01%	7.0%	0.01%
15.妊娠、分娩及び産じょく	0.4%		0.4%	
16.周産期に発生した病態	0.4%		0.4%	
17.先天奇形、変形及び染色体異常	0.8%		0.8%	
18.分類されないもの	2.1%		2.1%	
19.損傷、中毒及びその他の外因の影響	3.8%		3.9%	
21.健康状態に影響を及ぼす要因	0.3%		0.3%	
99.ワープロ病名	0.8%		1.0%	
生活習慣病 ICD10 8 疾患		14.82%		14.73%



入院における8疾患の割合の推移（H23-22年度）

H23年度	
医療費総額（215組合）に占める ICD10生活習慣病8疾患の割合	
（入院）	4.51%
金額	61億9,200万7,220円

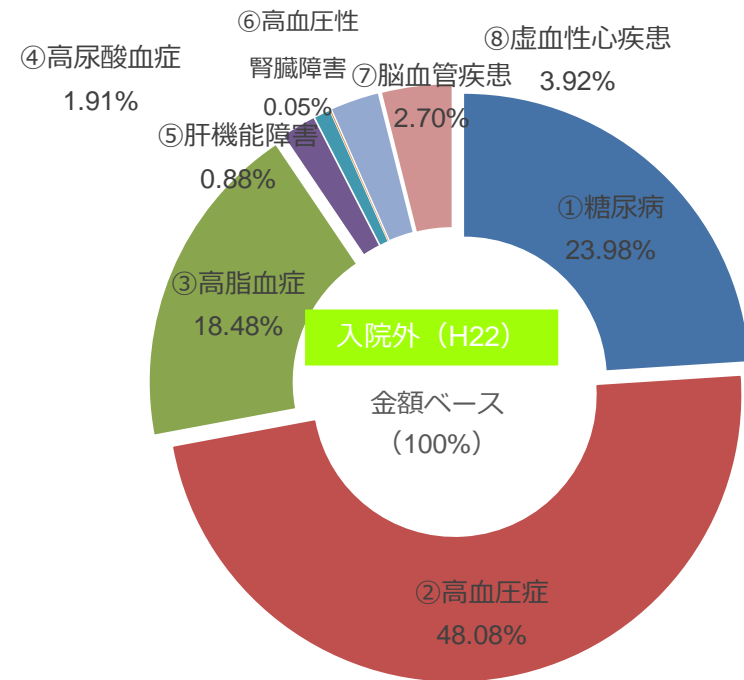
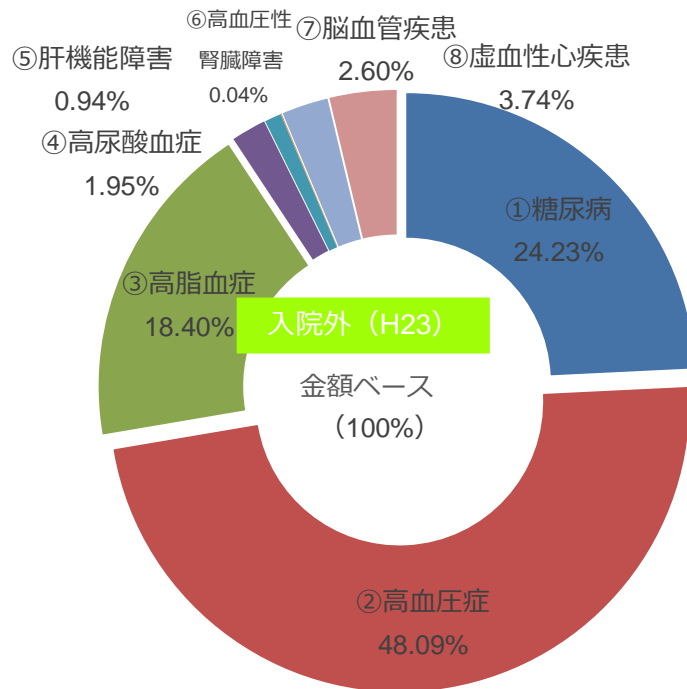
H22年度	
医療費総額（215組合）に占める ICD10生活習慣病8疾患の割合	
（入院）	4.80%
金額	66億19万8,620円



入院外における 8 疾患の割合の推移 (H23-22 年度)

H23 年度	
医療費総額(215 組合)に占める ICD10 生活習慣病 8 疾患の割合	
(入院外)	14.82%
金額	339 億 6,318 万 4,840 円

H22 年度	
医療費総額(215 組合) に占める ICD10 生活習慣病 8 疾患の割合	
(入院外)	14.73%
金額	330 億 8,698 万 2,440 円



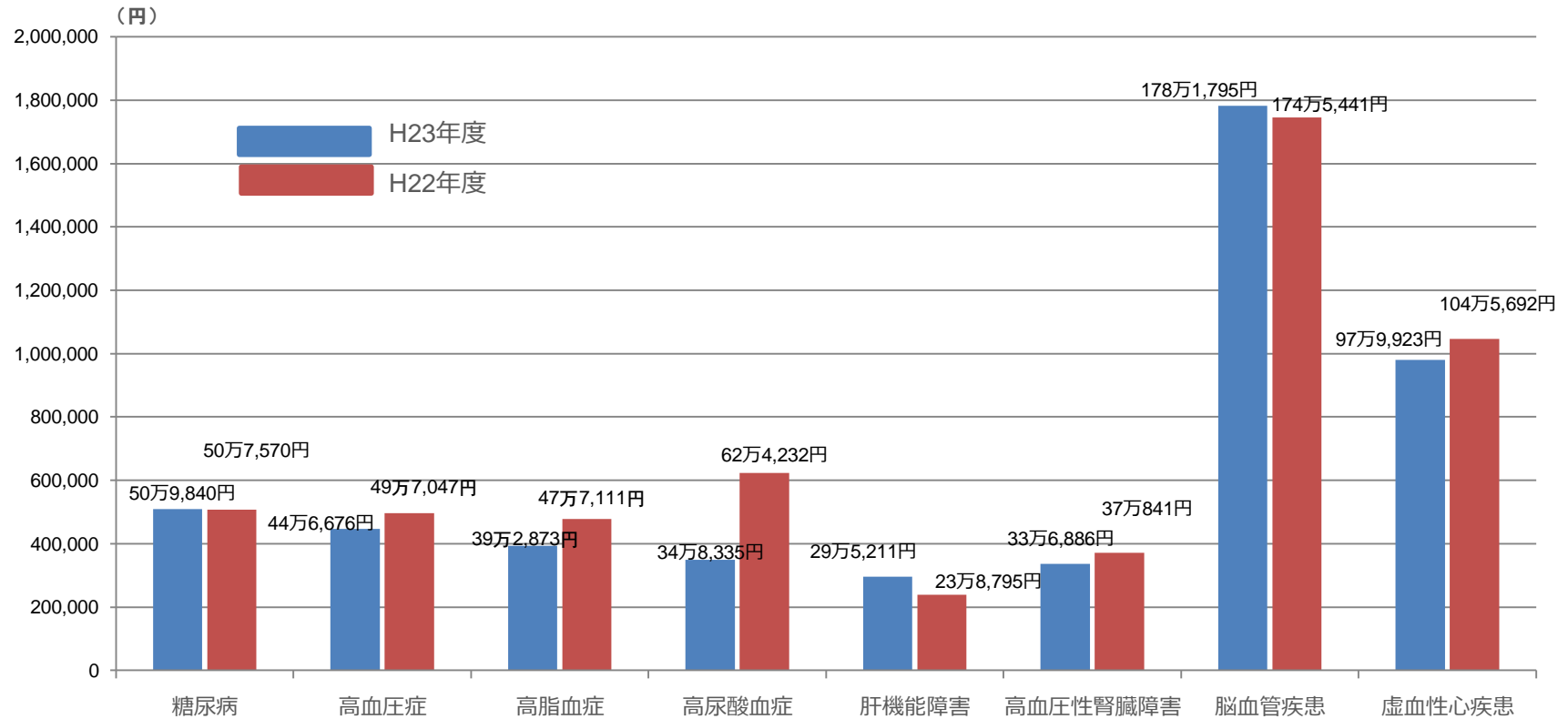
生活習慣病 8 疾患医療費（入院、入院外、合計）の H23-22 年度の推移（単純比較）

入院	H23 年度	H22 年度	H22-H23	増減率
①糖尿病	1,486,131,540	1,496,824,270	-10,692,730	-0.71%
②高血圧症	515,394,910	607,888,910	-92,494,000	-15.2%
③高脂血症	164,585,990	229,013,200	-64,427,210	-28.1%
④高尿酸血症	31,745,450	38,078,160	-6,332,710	-16.6%
⑤肝機能障害	32,977,260	21,491,550	11,485,710	53.4%
⑦高血圧性腎臓障害	3,284,920	3,337,570	-52,650	-1.6%
⑧脳血管疾患	2,919,913,500	2,939,322,760	-19,409,260	-0.7%
⑨虚血性心疾患	1,037,973,650	1,264,242,200	-226,268,550	-17.9%
合計	61 億 9,200 万 7,220 円	66 億 19 万 8,620 円	-4 億 819 万 1,400 円	-6.18%

入院外	H23 年度	H22 年度	H22-H23	増減率
①糖尿病	8,230,467,860	7,934,251,680	296,216,180	3.73%
②高血圧症	16,333,087,100	15,909,233,680	423,853,420	2.66%
③高脂血症	6,248,165,620	6,115,050,410	133,115,210	2.18%
④高尿酸血症	662,916,890	632,230,540	30,686,350	4.85%
⑤肝機能障害	319,595,850	290,239,100	29,356,750	10.20%
⑦高血圧性腎臓障害	15,151,390	17,194,600	-2,043,210	-11.88%
⑧脳血管疾患	883,460,470	892,423,500	-8,963,030	-1.00%
⑨虚血性心疾患	1,270,339,660	1,296,574,120	-26,234,460	-2.02%
合計	339 億 6,318 万 4,840 円	330 億 8,698 万 2,440 円	8 億 7,620 万 2,400 円	2.65%

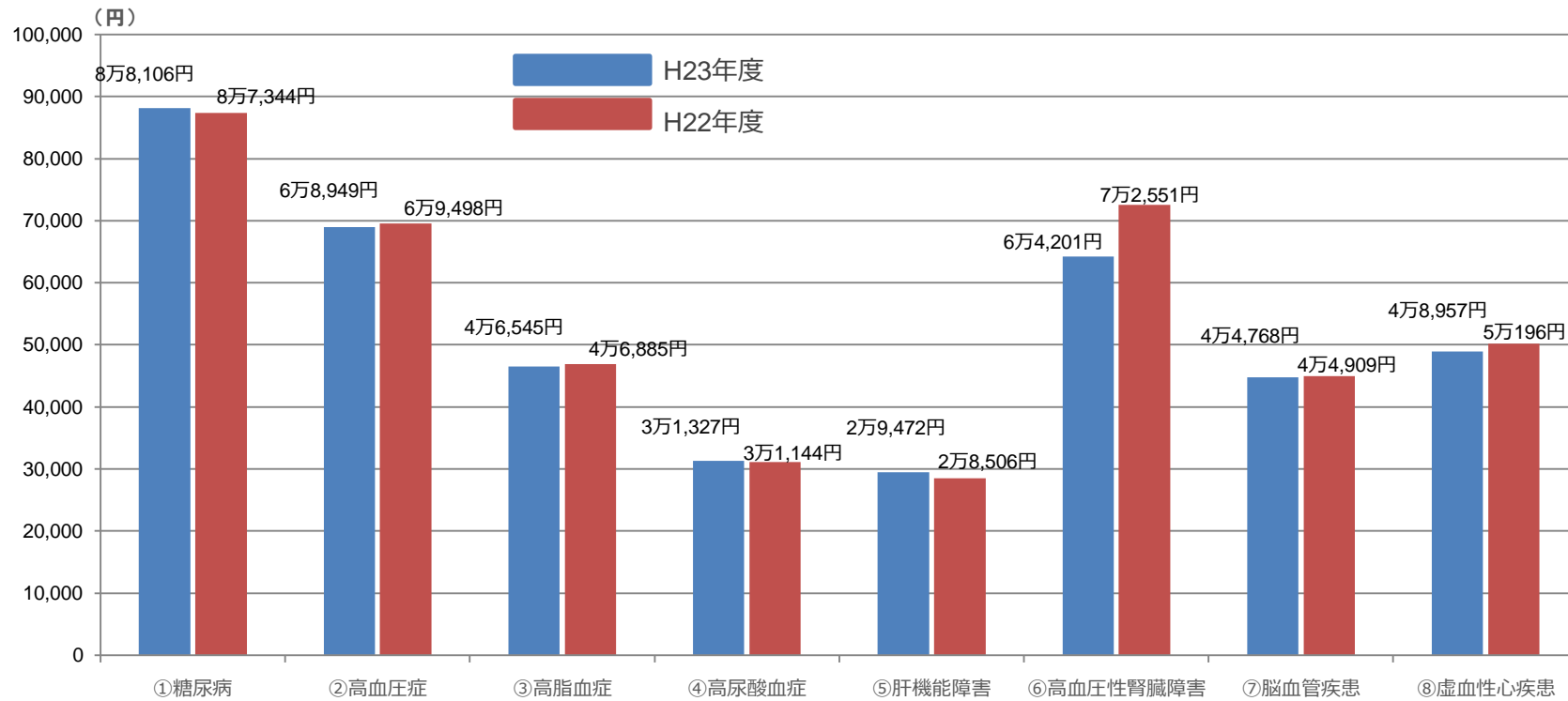
医科全体（入院・入院外）	H23 年度	H22 年度	H22-H23	増減率
①糖尿病	9,716,599,400	9,431,075,950	285,523,450	3.03%
②高血圧症	168,48,482,010	16,517,122,590	331,359,420	2.01%
③高脂血症	641,2751,610	6,344,063,610	68,688,000	1.08%
④高尿酸血症	694,662,340	670,308,700	24,353,640	3.63%
⑤肝機能障害	352,573,110	311,515,460	41,057,650	13.18%
⑦高血圧性腎臓障害	18,436,310	20,532,170	-2,095,860	-10.21%
⑧脳血管疾患	3,803,373,970	3,831,746,260	-28,372,290	-0.74%
⑨虚血性心疾患	2,308,313,310	2,560,816,320	-252,503,010	-9.86%
合計	401 億 5,519 万 2,060 円	396 億 8,718 万 1,060 円	4 億 6,801 万 1000 円	1.18%

入院：受診者 1 人当たり平均医療費の単純比較（H23-H22 年度）



受診者数 (名)	①糖尿病	②高血圧症	③高脂血症	④高尿酸血症	⑤肝機能障害	⑥高血圧性腎臓障害	⑦脳血管疾患	⑧虚血性心疾患
H23 年度	2,875	1,152	427	81	116	10	1,629	1,090
H22 年度	2,949	1,223	480	61	90	9	1,684	1,209

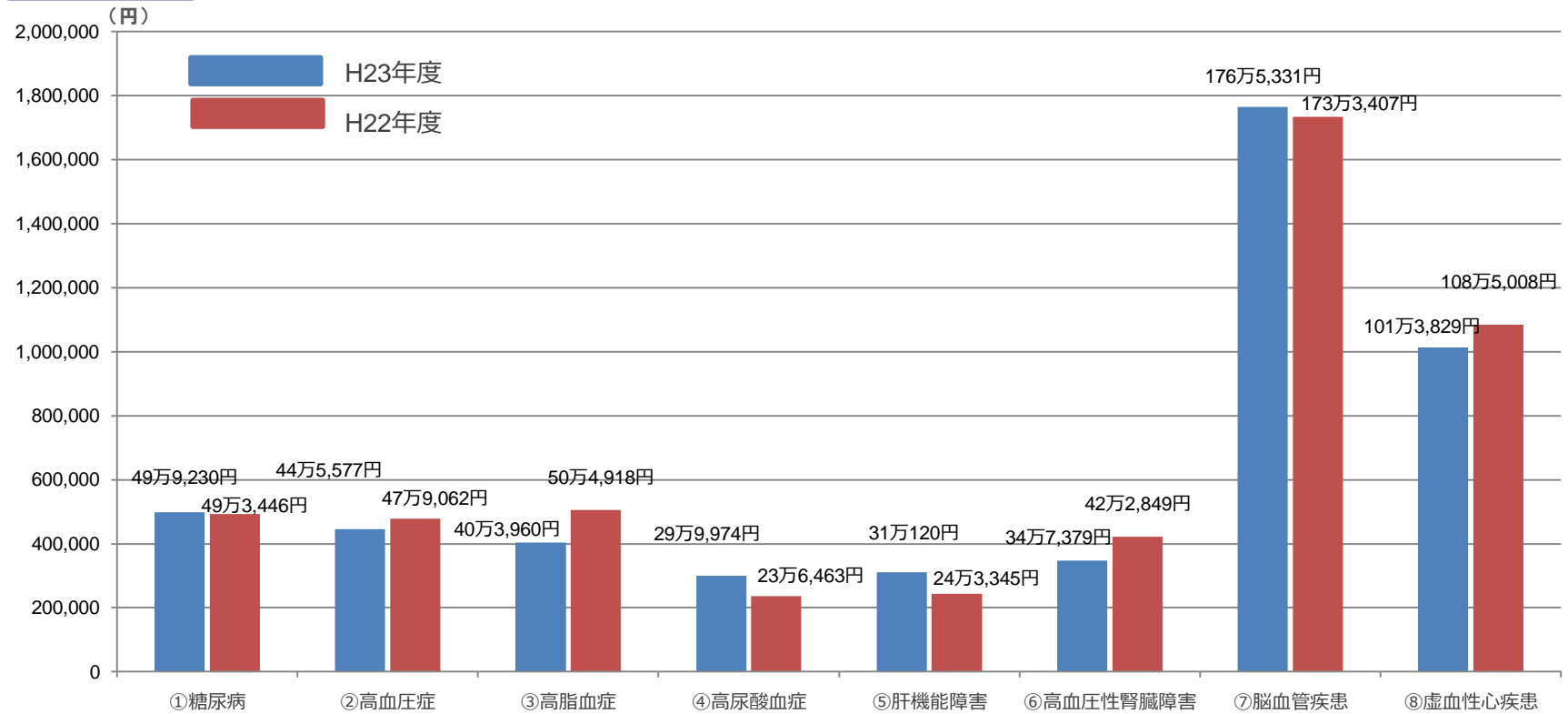
入院外：受診者 1 人当たり平均医療費の比較（H23-22 年度）



受診者数 (名)	①糖尿病	②高血圧症	③高脂血症	④高尿酸血症	⑤肝機能障害	⑥高血圧性腎臓障害	⑦脳血管疾患	⑧虚血性心疾患
H23 年度	93,416	236,888	134,240	21,161	10,844	236	19,734	25,948
H22 年度	90,839	228,917	130,428	20,300	10,174	237	19,872	25,830

入院：男女別受診者 1 人当たり平均医療費（H23-22 年度）

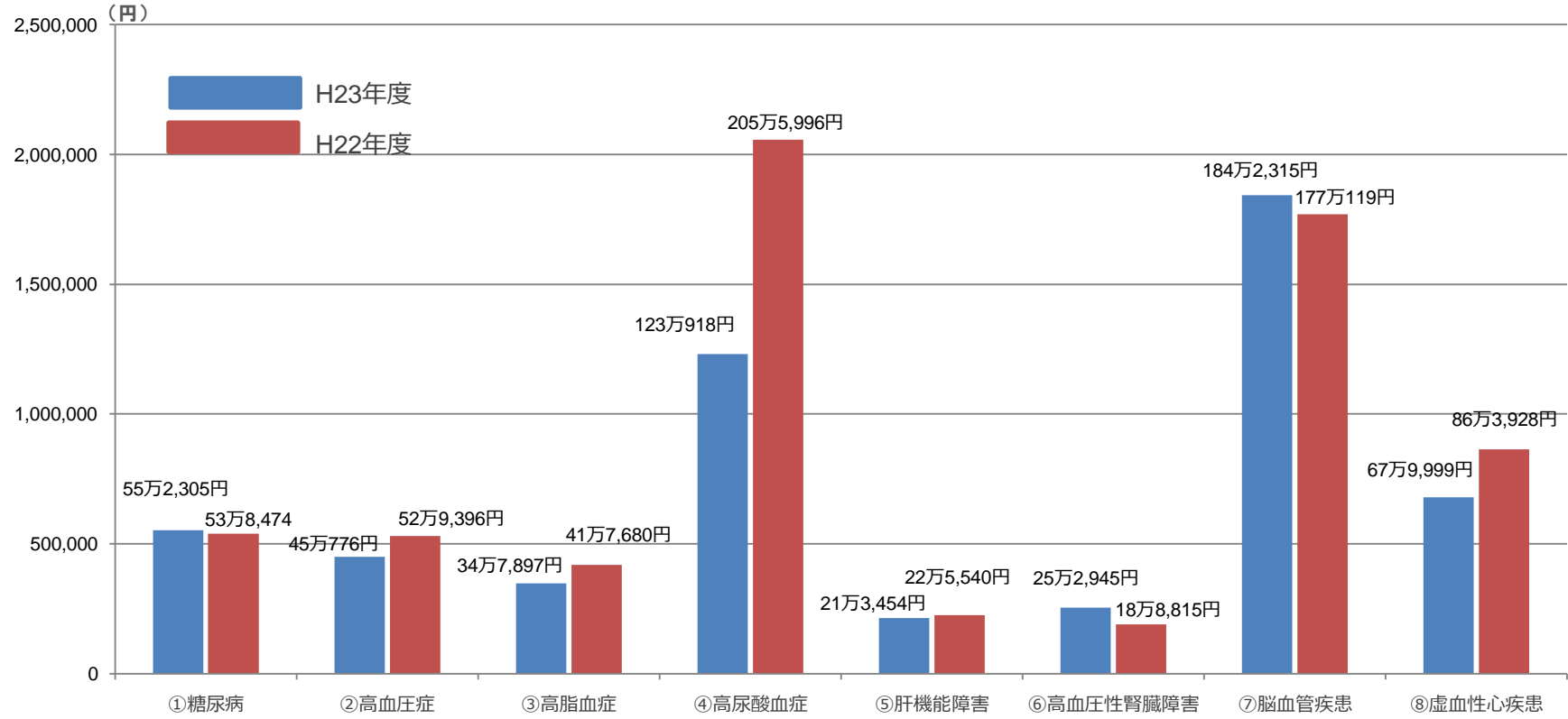
男性



受診者数(名)	①糖尿病	②高血圧症	③高脂血症	④高尿酸血症	⑤肝機能障害	⑥高血圧性腎臓障害	⑦脳血管疾患	⑧虚血性心疾患
H23 年度 男	1,917	750	286	73	85	8	1,055	889
H22 年度 男	2,024	786	327	48	67	7	1,132	994

入院：男女別受診者 1 人当たり平均医療費（H23-22 年度）

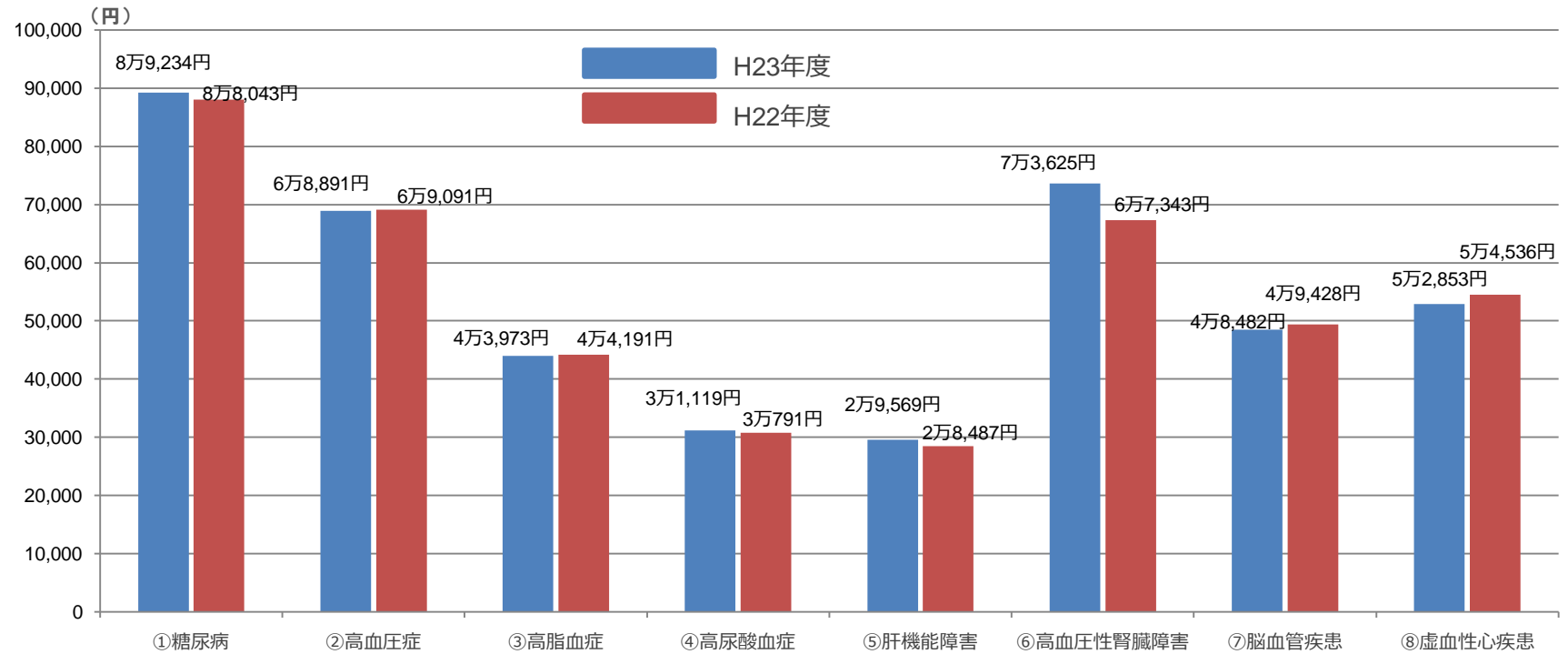
女性



受診者数 (名)	①糖尿病	②高血圧症	③高脂血症	④高尿酸血症	⑤肝機能障害	⑥高血圧性腎臓障害	⑦脳血管疾患	⑧虚血性心疾患
H23年度	958	402	141	8	31	2	574	201
H22年度	925	437	153	13	23	2	552	215

入院外：受診者 1 人当たり平均医療費（H23-22 年度）

男性

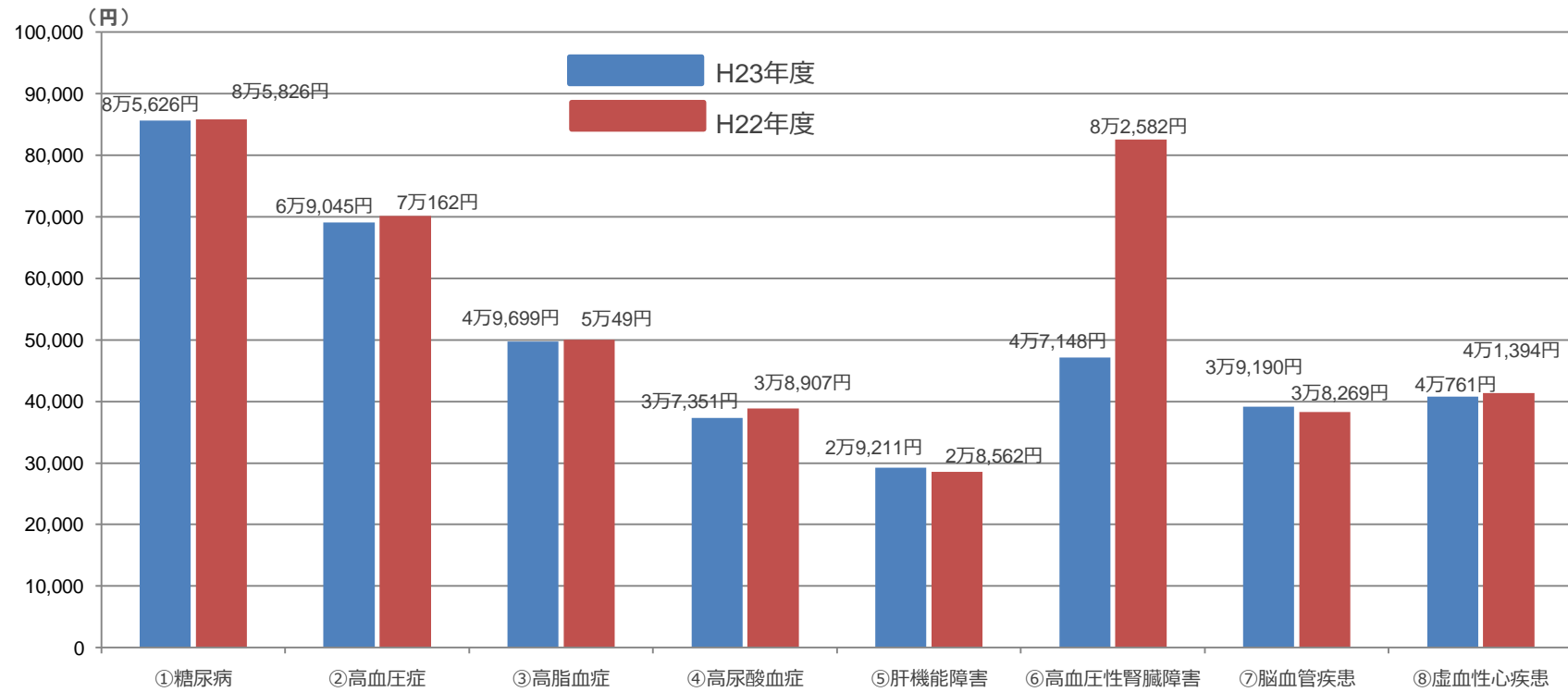


受診者数 (名)	①糖尿病	②高血圧症	③高脂血症	④高尿酸血症	⑤肝機能障害	⑥高血圧性腎臓障害	⑦脳血管疾患	⑧虚血性心疾患
H23 年度	64,204	148,519	73,955	20,453	7,910	152	11,847	17,588
H22 年度	62,206	141,991	70,463	19,415	7,492	156	11,824	17,301



入院外：受診者 1 人当たり平均医療費（H23-22 年度）

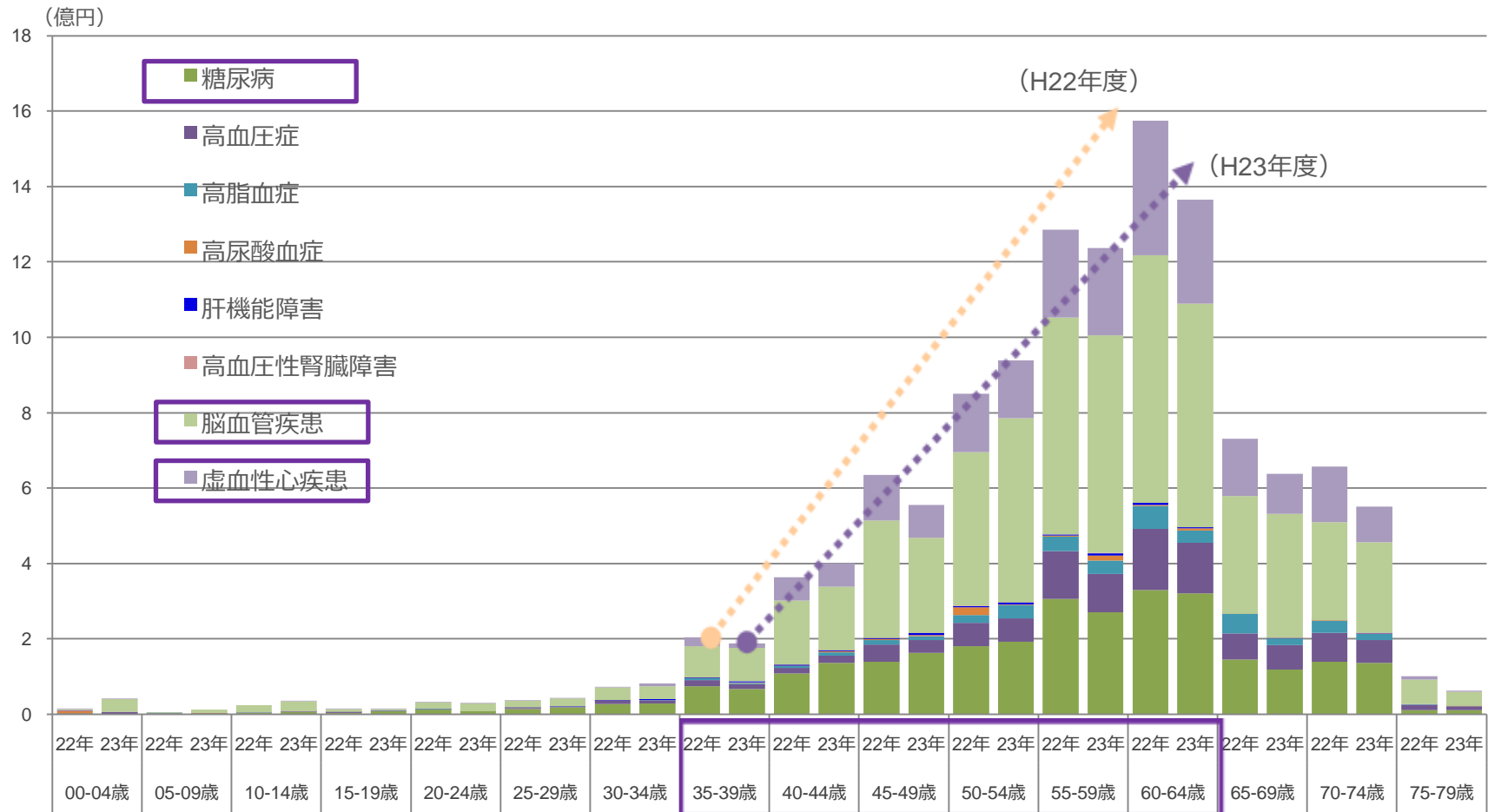
女性



受診者数 (名)	①糖尿病	②高血圧症	③高脂血症	④高尿酸血症	⑤肝機能障害	⑥高血圧性腎臓障害	⑦脳血管疾患	⑧虚血性心疾患
H23 年度	29,212	88,369	60,285	708	2,934	84	7,887	8,360
H22 年度	28,633	86,926	59,965	885	2,682	81	8,048	8,529

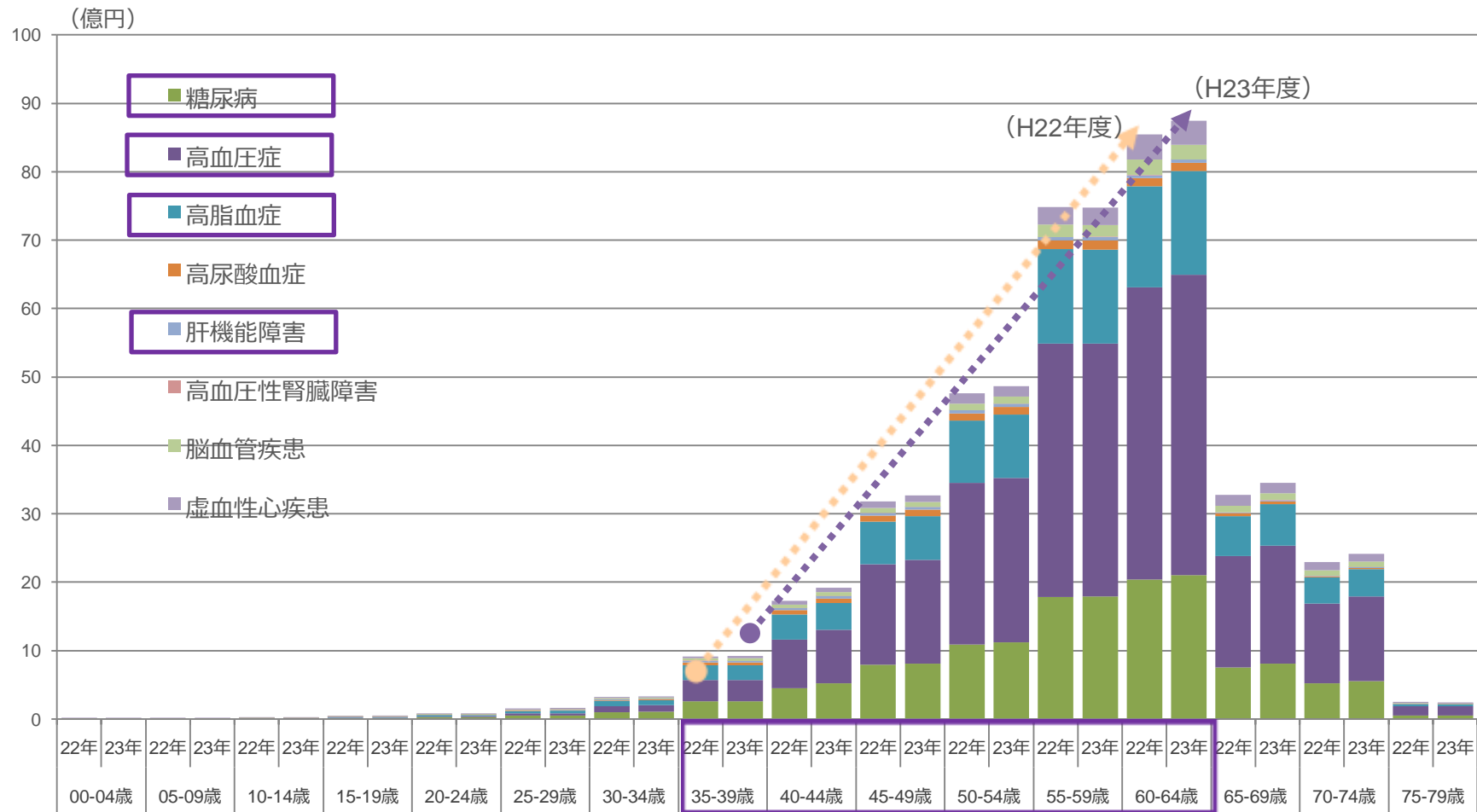
入院：年齢階層別 8 疾患医療費の構造の比較（H23-22 年度）

- 入院について、年齢階層別に 8 疾患医療費の構造を比較すると、23 年度 6.18%（p35 参照）の減少により、22 年度に比べ、積み上げグラフがやや緩やかになっている。また、35 歳以上から 8 疾患医療費が増加する傾向が示されている。
- 8 疾患のうち、とくに①糖尿病 ■、②脳血管疾患 ■、③虚血性心疾患 ■一の占める割合が高い。



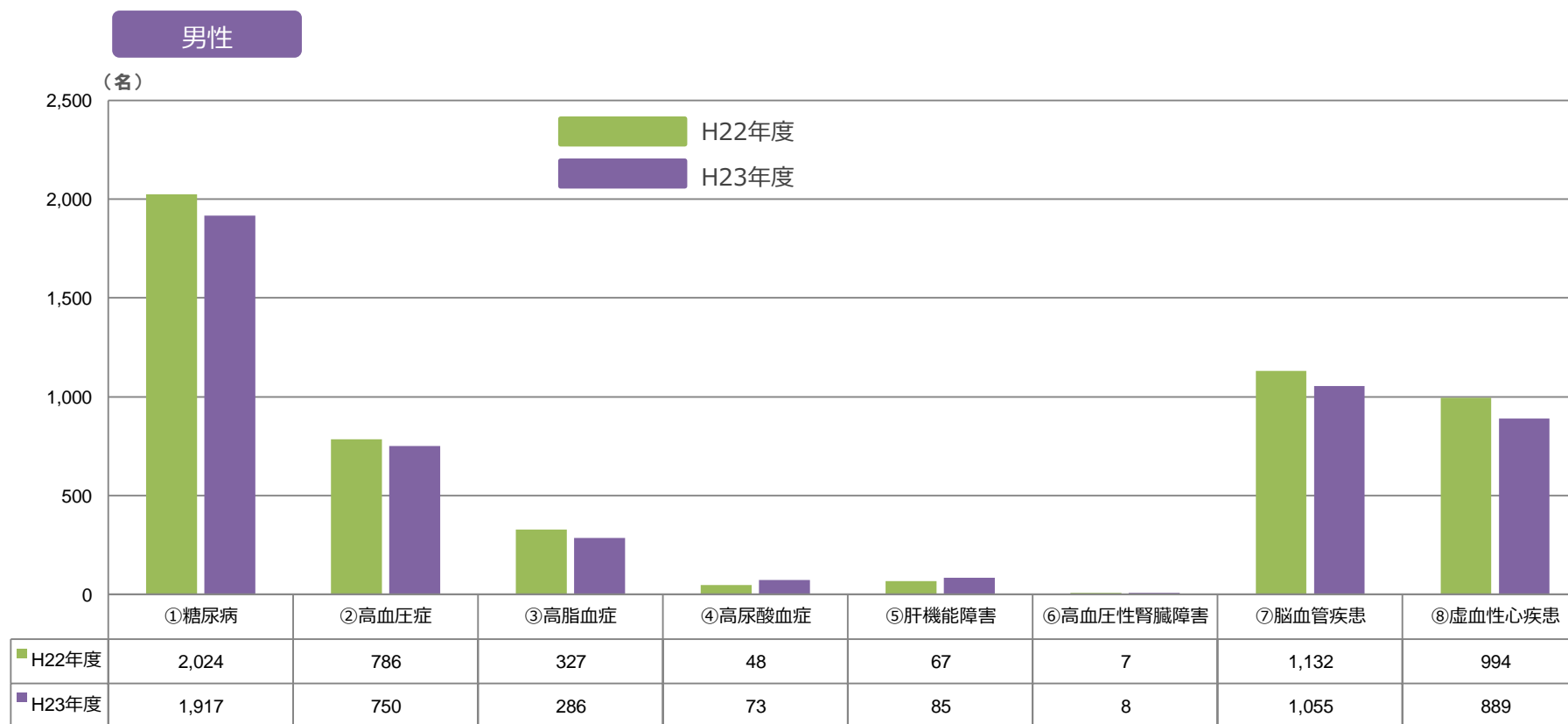
入院外：年齢階層別 8 疾患医療費の構造の比較 (H23-22 年度)

○入院外について、年齢階層別に 8 疾患医療費の構造を比較すると、23 年度 2.65% (p35 参照) の増加により、22 年度に比べ、積み上げグラフの山がやや高くなっている。また、入院と同様、35 歳以上から 8 疾患医療費が増加する傾向が示されている。  
 ○8 疾患のうち、とくに①高血圧症 ■、②糖尿病 ■、③高脂血症 ■一の占める割合が高い。



参 考

入院：疾患別受診者数（H23-H22 年度）

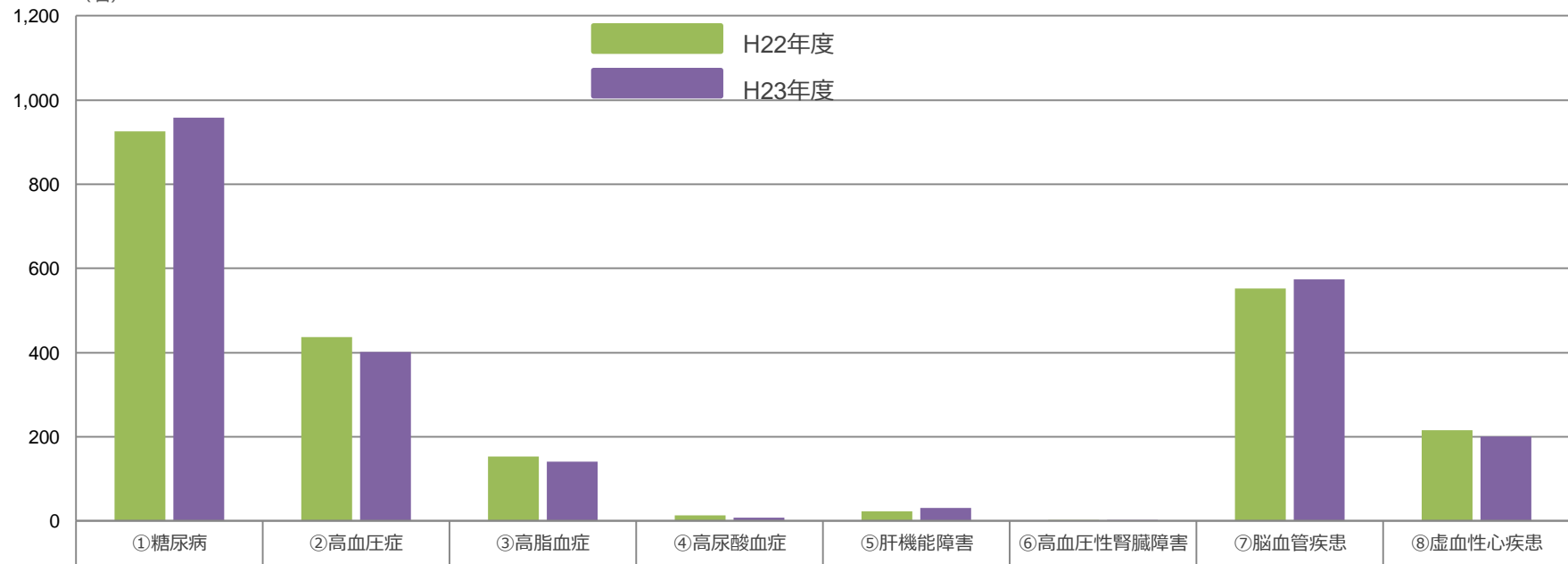


参 考

入院：疾患別受診者数（H23-H22年度）

女性

(名)

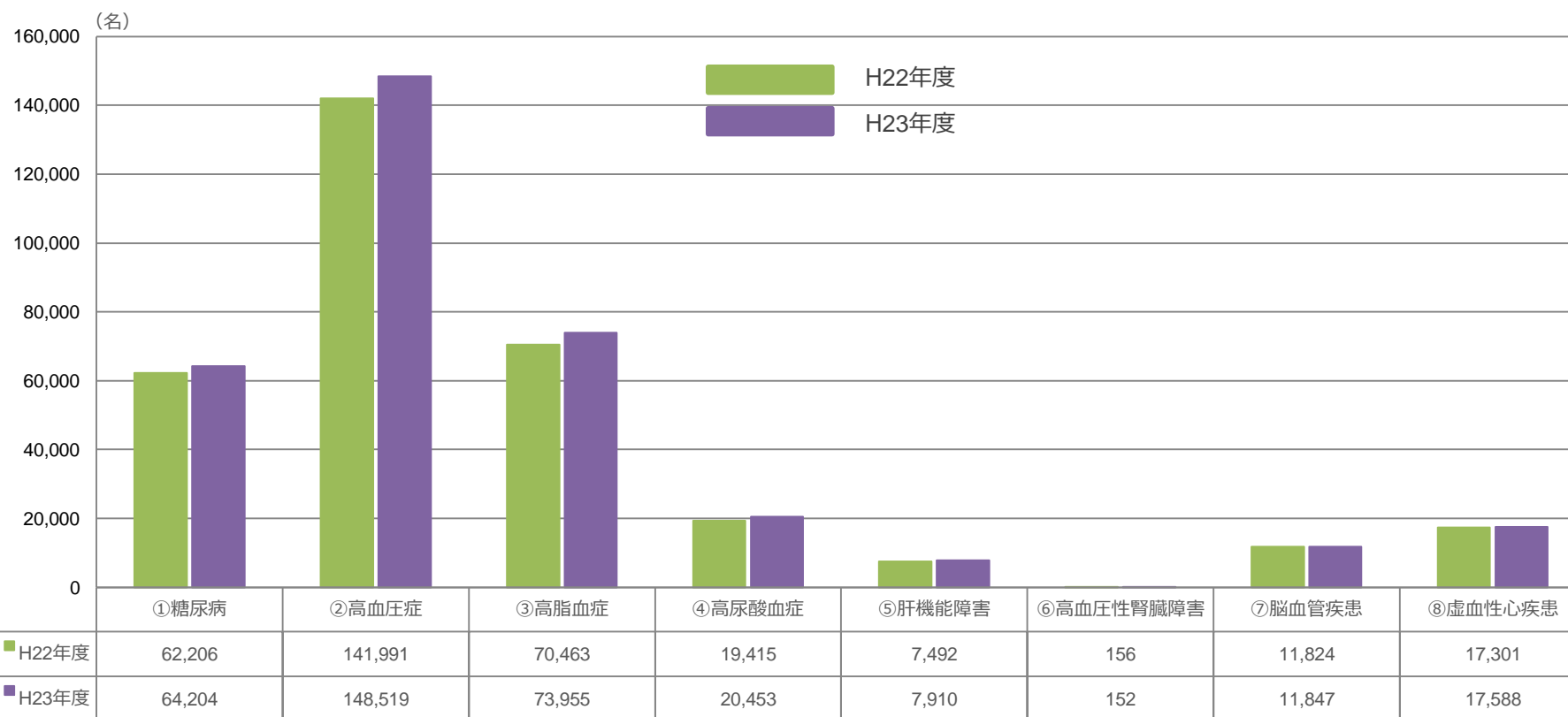


■ H22年度	925	437	153	13	23	2	552	215
■ H23年度	958	402	141	8	31	2	574	201

参 考

入院外：疾患別受診者数（H23-22年度）

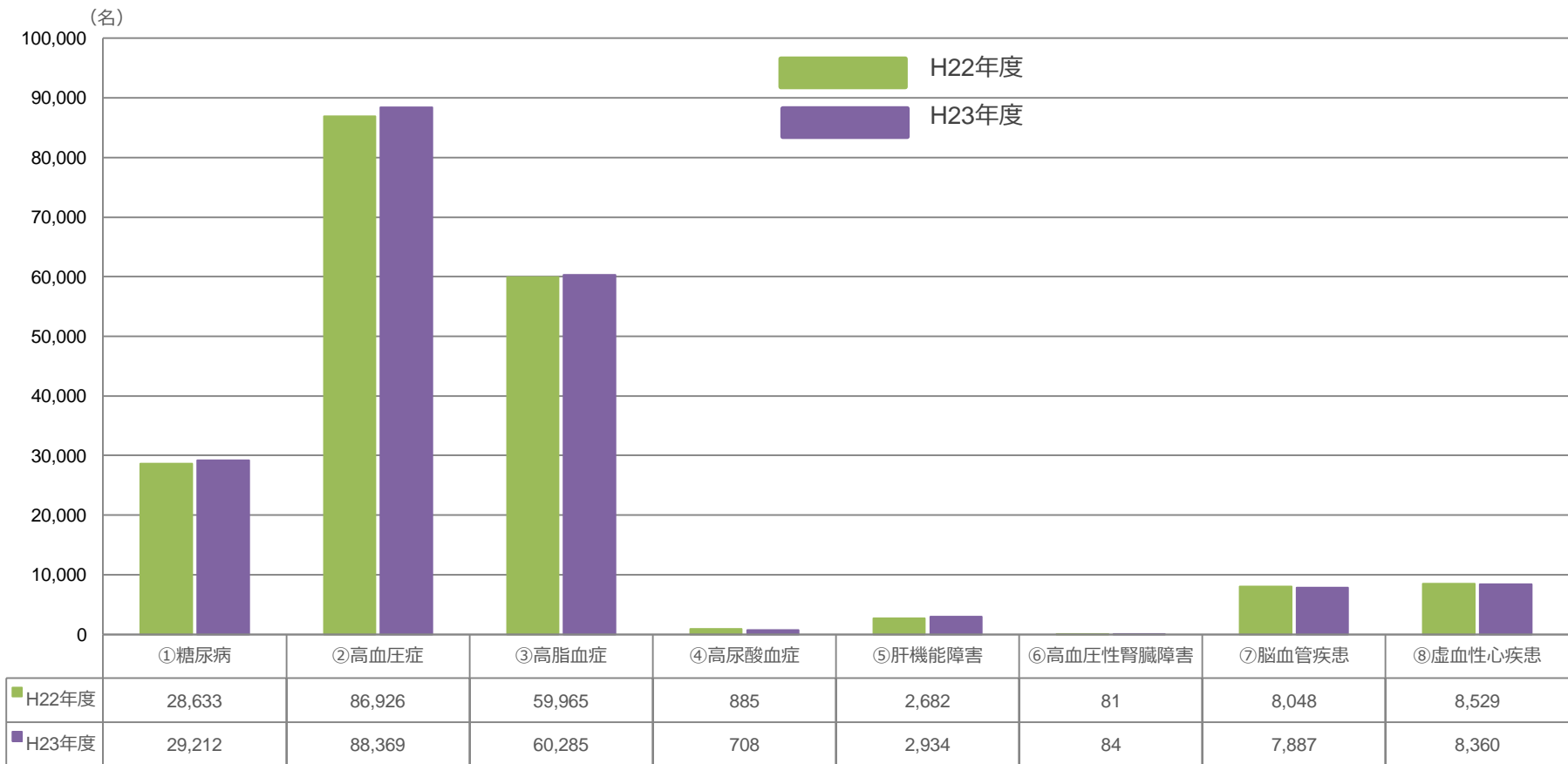
男性



参考

入院外：疾患別受診者数（H23-22年度）

女性



## **補足資料（特定健診関連フォローアップ調査）**



## 調査分析の目的と概要

- 1) 本調査分析は、特定健診・特定保健指導のフォローアップとして、平成 22 年度の特定健診の結果、「評価対象者」となった者について、23 年度レセプトデータ（CSV）を使用して、①23 年度に保険医療機関に受診した者の人数・割合、②生活習慣病発症者の人数・割合、③40-74 歳の 5 歳区分の年齢階層別の 1 人当たり医療費—を参考データとして算出したものです。
- 2) ここでいう「生活習慣病」は、第 1 部、第 2 部同様、「レセプト分析対象病名等一覧（優先順位）」（厚生労働省 平成 19 年 4 月）の ICD-10 疾病分類に基づく生活習慣病 8 疾患であり、対象組合から提出頂いたレセプトデータのうち、同 8 疾患のコードの記載のあったものを抽出しています。
- 3) また、特定健診（22 年度）データとレセプトデータ（23 年度）の両者を関連付けた調査のため、両者が一致する 288 組合のデータが対象となっています。

### (1) 診療報酬明細書（レセプト）と特定健診データの集計対象

- ① H23 年 4 月から H24 年 3 月診療分の 12 カ月のレセプトデータと特定健診データが関連付け可能な 288 組合を対象。

診療年度	組合数	加入者数
H23(2011)年	288 組合	206 万 9,376 名

診療年度	区分	組合数	加入者数 (40~74 歳)	健診受診対象者	特定健診受診者	特定健診受診率	評価対象者	評価対象率
H22(2010)年	男性	288 組合	109 万 5,539 名	100 万 589 名	75 万 207 名	74.98%	83 万 5,930 名	83.54%
	女性	288 組合	97 万 3,837 名	85 万 969 名	39 万 3,602 名	46.25%	43 万 3,476 名	50.94%

- ② 上記①と同一の 288 組合の H22 年度特定健診データ

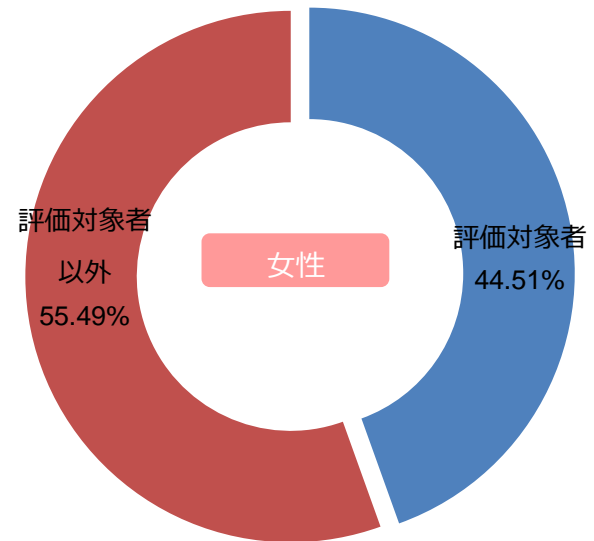
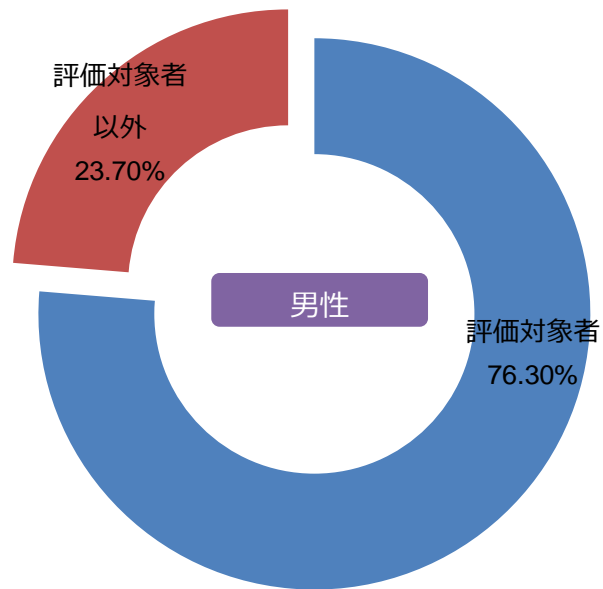
### (2) 医科・診療報酬明細書（レセプト）の内訳

診療年度	点数表	入外区分	レセプト件数	受診者数	実日数	医療費
H23(2011)年	医科	入院	186,277 件	100,263 名	2,049,043 日	96,113,307,900 円
		入院外	12,140,492 件	1,550,352 名	18,550,400 日	150,901,112,470 円

H22 年度特定健診の男女別実施状況（288 組合）：評価対象者と非評価対象者の男女別人数構成

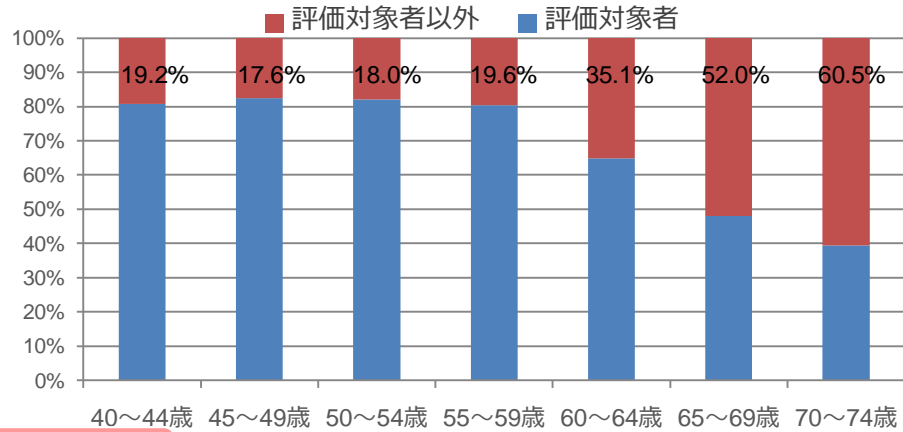
H22 年度	男性	女性
加入者数	109 万 5,539 名	97 万 3,837 名
評価対象者数	83 万 5,930 名	43 万 3,476 名
【割合】	76.30%	44.51%
評価対象者数以外	25 万 9,609 名	54 万 361 名
【割合】	23.70%	55.49%

- 評価対象とは、特定健診対象者（40-74 歳）のうち、以下の条件を満たしている者である。
  - ・受診年月データが存在する
  - ・特定健診の受診必須項目を満たしている、または、必須項目を満たしてはいないが、階層化が可能な項目を満たしている。
- 288 組合の男女別状況では、男性では約 76%、女性では 45%が評価対象者となっている（逆に、男性：24%、女性：55%が非評価対象となっている。）

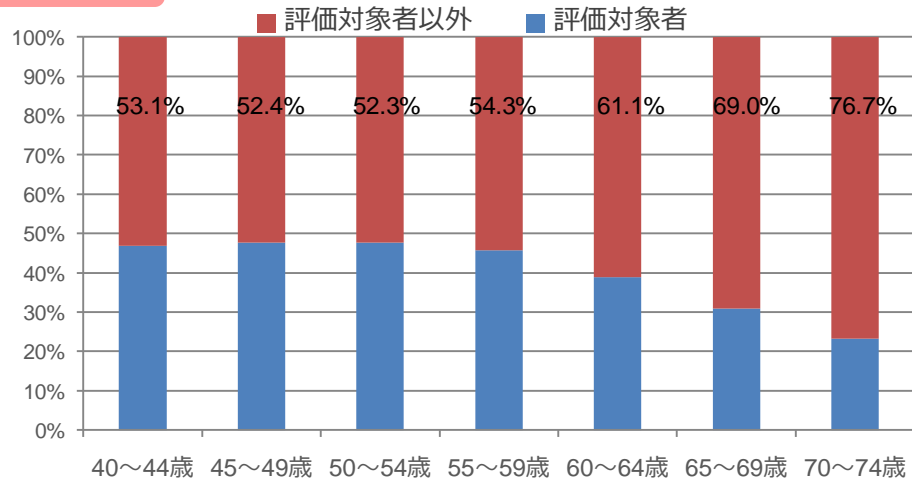


H22 年度特定健診の男女別・階層別評価対象者／評価対象者以外の割合の状況（288 組合）

男性



女性



○特定健診・評価対象者以外とは、①受診年月日が存在しない、②階層化に必要な健診項目必須項目を満たしていない者である。  
○男女別にみると、全体的に女性の割合がかなり高いことがわかる。

性別	年齢	評価対象者数	非評価対象者数
男性	40～44歳	193,620	45,886名
	45～49歳	182,187	38,987名
	50～54歳	152,296	33,435名
	55～59歳	157,623	38,330名
	60～64歳	117,174	63,234名
	65～69歳	24,313	26,378名
	70～74歳	8,717	13,359名
女性	40～44歳	108,005	123,048名
	45～49歳	95,434	105,005名
	50～54歳	81,401	89,161名
	55～59歳	77,443	91,948名
	60～64歳	51,594	81,064名
	65～69歳	13,563	30,232名
	70～74歳	6,036	19,903名

H22 年度特定健診評価対象者の 23 年度における保険医療機関受診状況（288 組合）

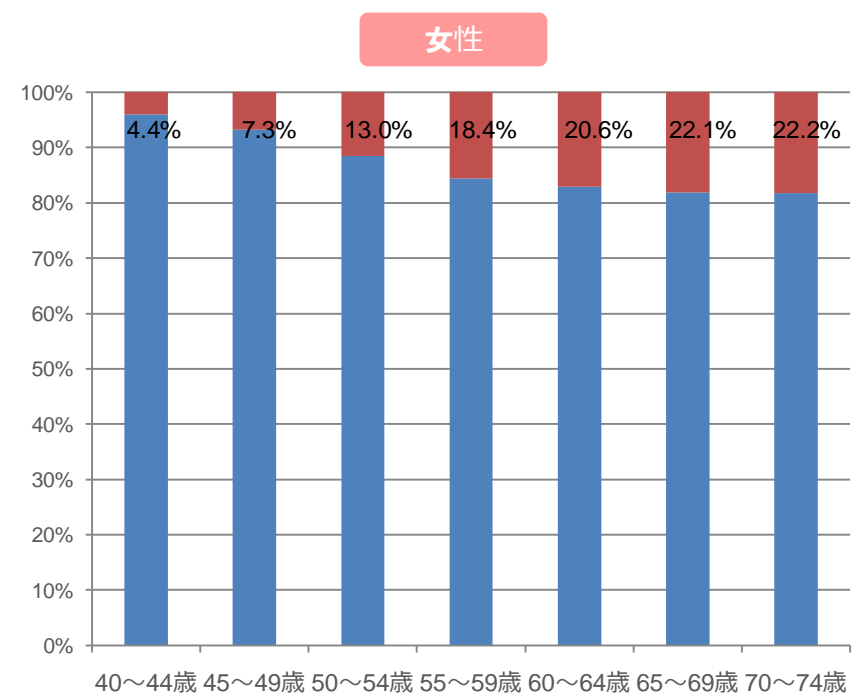
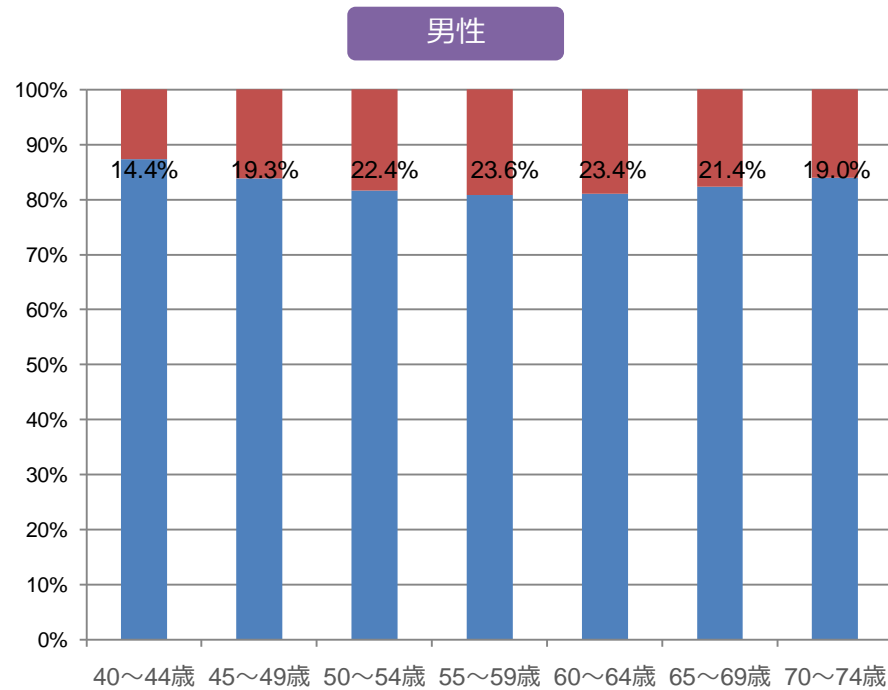
- 全体として、年齢階層が上がるにつれて、医療機関受診者の割合が高くなる傾向にある。
- 男女別にみると、女性のほうが医療機関に受診する割合が高い。
- 生活習慣病の発症割合は、概ね男性のほうが高い傾向にあるが、男女ともに年齢階層が上がるにつれて割合は増加している。

(区分)	年齢階層	評価対象者	医療機関受診者			
			医療機関受診者	評価対象者に占める割合	生活習慣病発症者	評価対象者に占める割合
男性	40～44 歳	193,620 名	146,244 名	75.5%	25,813 名	13.3%
	45～49 歳	182,187 名	141,299 名	77.6%	38,028 名	20.9%
	50～54 歳	152,296 名	121,807 名	79.9%	45,333 名	29.8%
	55～59 歳	157,623 名	130,567 名	82.8%	59,039 名	37.5%
	60～64 歳	117,714 名	98,693 名	84.1%	50,814 名	43.2%
	65～69 歳	24,313 名	20,553 名	84.5%	11,132 名	45.8%
	70～74 歳	8,717 名	8,012 名	91.9%	4,518 名	51.8%
女性	40～44 歳	108,005 名	92,043 名	85.2%	6,077 名	5.6%
	45～49 歳	95,434 名	82,100 名	86.0%	10,075 名	10.6%
	50～54 歳	81,401 名	70,584 名	86.7%	16,402 名	20.1%
	55～59 歳	77,443 名	67,096 名	86.6%	22,821 名	29.5%
	60～64 歳	51,594 名	44,312 名	85.9%	19,092 名	37.0%
	65～69 歳	13,563 名	12,098 名	89.2%	6,250 名	46.1%
	70～74 歳	6,036 名	5,631 名	93.3%	3,266 名	54.1%

## H22 年度特定健診評価対象者の H23 年度生活習慣病医療費の状況（288 組合）

- 棒グラフは、H22 年度特定健診評価対象者の H23 年度に受診した医科総額に占める生活習慣病医療費の割合を、男女別、年齢階層別にみたものである。
- 医科・総額に占める生活習慣病医療費の割合は、全体的に男性のほうが高い傾向にあるが、女性は、年齢階層が上がるにつれて高くなり、65 歳以降では女性のほうが高い割合を示している。

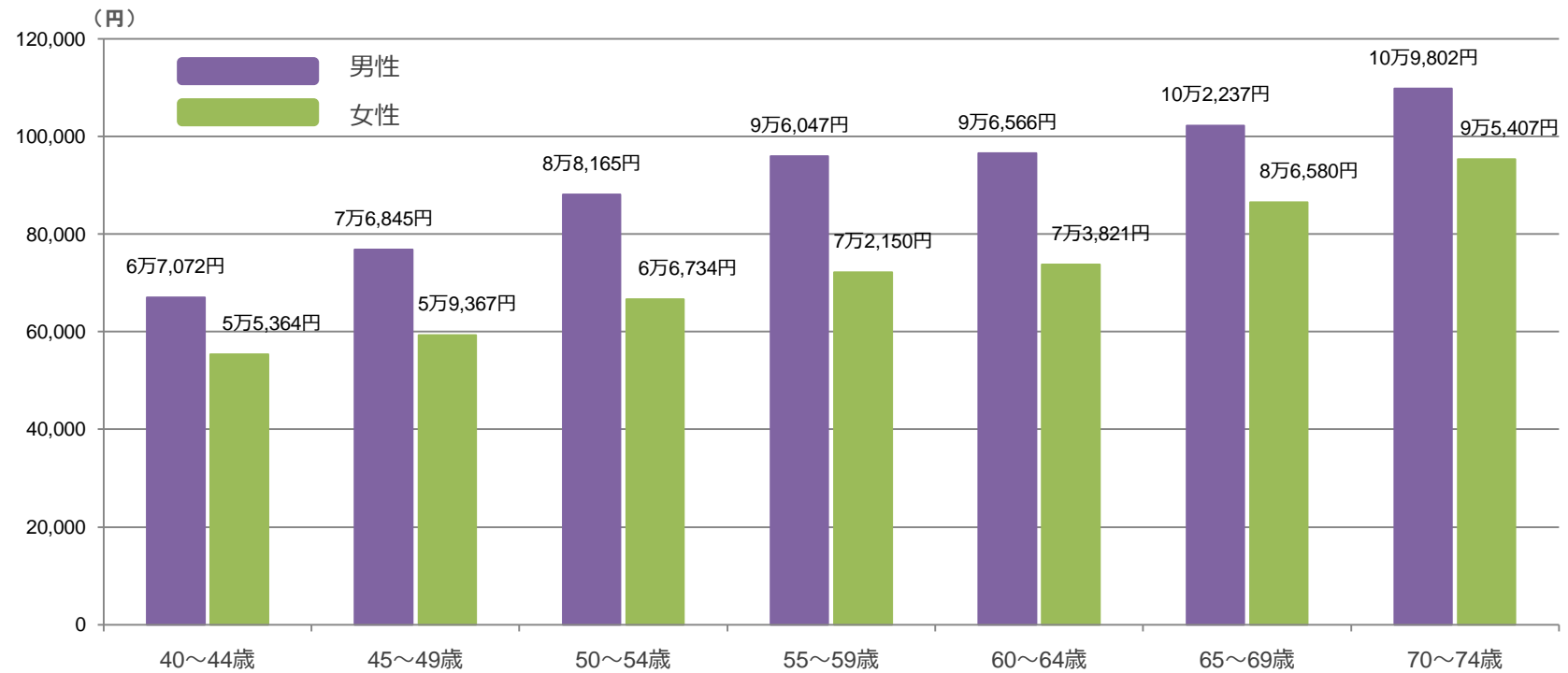
(288 組合)	医科全体	内) 生活習慣病医療費	割合
男性	978 億 5,714 万 5,570 円	208 億 6,197 万 4,550 円	21.3%
女性	442 億 8,512 万 9,240 円	59 億 3,780 万 3,500 円	13.4%



平成 22 年度の評価対象者のうち 23 年度に生活習慣病（入院・入院外計）を発症した者の 1 人あたり医療費（288 組合）

【計（入院・入院外）】

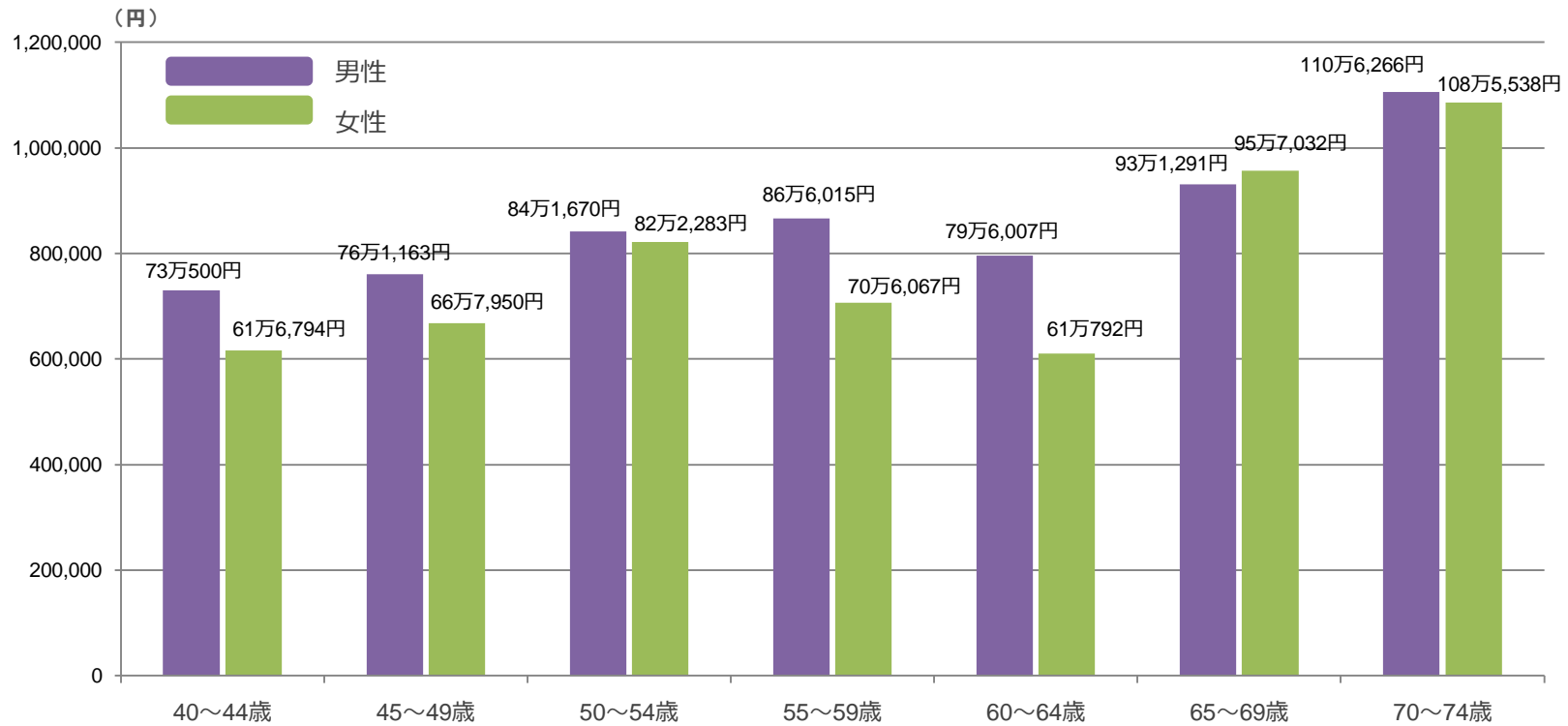
	生活習慣病発症者	生活習慣病医療費
男性	234,677 名	20,861,974,550 円
女性	83,983 名	5,937,803,500 円



平成 22 年度の評価対象者のうち 23 年度に生活習慣病【入院】を発症した者の 1 人あたり医療費（288 組合）

入院

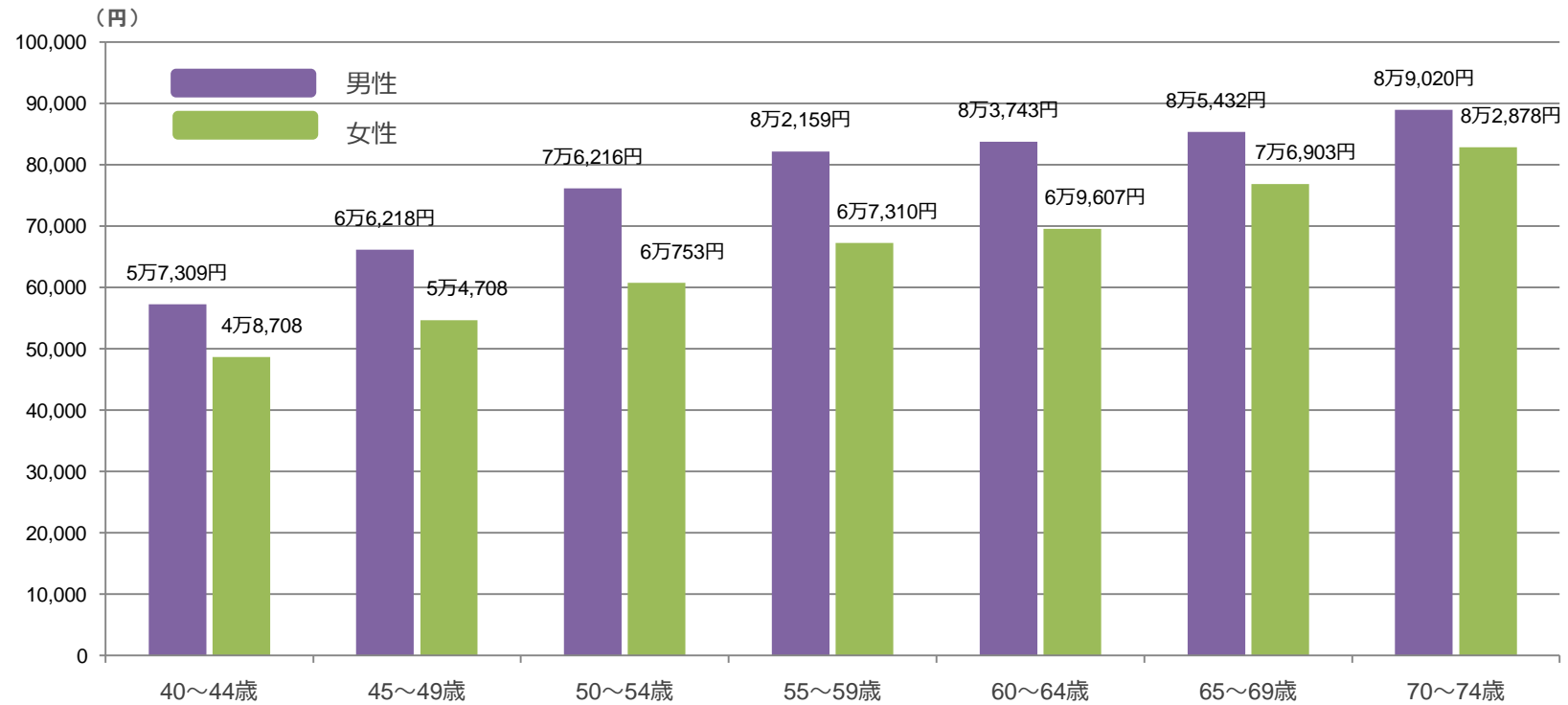
	生活習慣病発症者	生活習慣病医療費
男性	3,611 名	2,983,812,660 円
女性	654 名	484,914,140 円



平成 22 年度の評価対象者のうち 23 年度に生活習慣病【入院外】を発症した者の 1 人当たり医療費（288 組合）

入院外

	生活習慣病発症者	生活習慣病医療費
男性	234,238 名	17,878,161,890 円
女性	83,869 名	5,452,889,360 円





**【担当・照会先】**

健康保険組合連合会

IT 推進部 データ分析推進グループ      e-mail : da@kenporen.or.jp